

## 1. 西部地域住民アンケート

### 1.1 目的

- ▶ 西部地域乗合タクシーの沿線地域を対象に、住民の生活実態・交通行動等の公共交通に対するニーズをはじめ公共交通改善実施計画（交通不便地域改善施策・西部地域編）の運行評価指標及び運行改善参考指標として活用するための第5回アンケート調査を実施しました。

### 1.2 アンケート調査実施概要

#### (1) 調査方法

- ▶ 住民基本台帳から無作為抽出による郵送配布・郵送回収（6ヶ月以上在住者対象、町丁目別・年代別・性別に調査対象地区の人口構成に応じて均等抽出）

#### (2) 調査対象者

- ▶ 西部地域乗合タクシーを運行する地区に在住する20歳以上の市民

#### (3) 調査規模

- ▶ 西部地域乗合タクシー沿線地域に800部/回配布

#### (4) 調査時期

- ▶ 令和5年（2023年）8月9日（水）～8月31日（木）

#### (5) 調査項目

- ① 普段の外出状況
- ② 西部地域乗合タクシーの認知状況や利用意向について
- ③ 西部地域乗合タクシーの事業効果について
- ④ 公共交通の必要性について
- ⑤ 属性

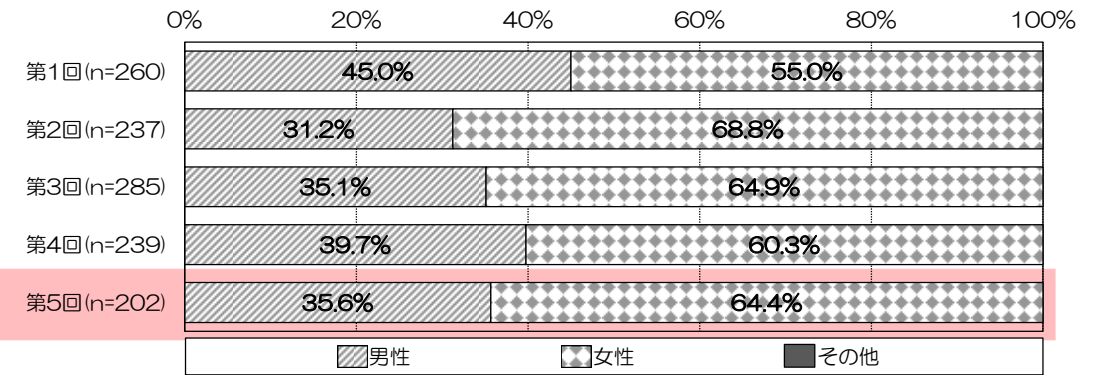
【参考】これまでの調査実施概要と回答状況

乗合タクシー	回数	実施時期	配布部数 (部)	回収部数 (部)	回答率
運行開始前	第1回	令和元年（2019年）8～9月	800	265	33.1%
	第2回	令和元年（2019年）11～12月		240	30.0%
運行開始後	第3回	令和2年（2020年）10月		292	36.5%
	第4回	令和3年（2021年）9～10月		240	30.0%

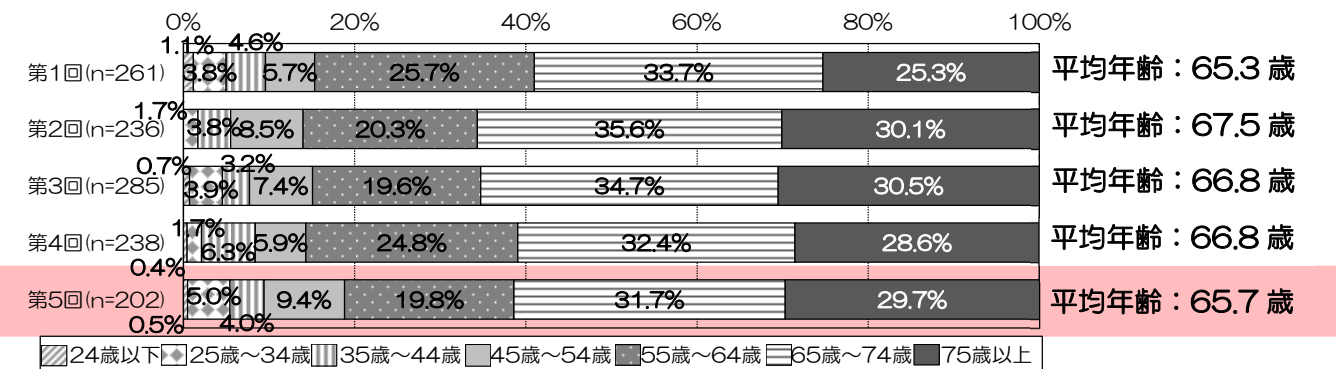
### 1.3 回答状況

- ▶ 回収部数が211票、回答率が26.4%です。
- ▶ 回答者の平均年齢は、65.7歳であり、高齢者及び10年以内に高齢者となる世代の割合が多い状況でのアンケートデータです。
- ▶ 回答者の住まいの地域は、西部地域南路線沿線の地域が約7割を占め、「利倉西地区」が最も多くなっています。

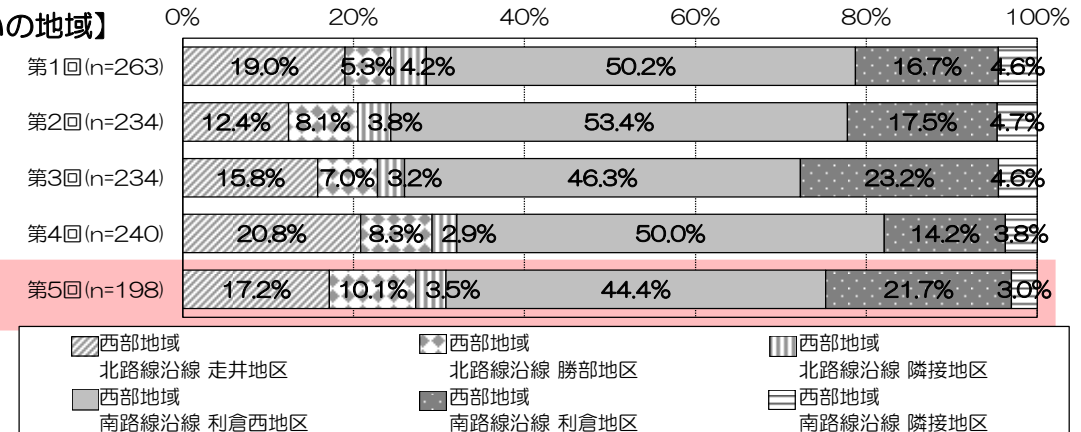
#### 【性別】



#### 【年齢】



#### 【住まいの地域】



#### 【サンプル数の見方について】

- ・基数となるべき実数は「n」（回答者数）、複数回答が可能な設問では総回答数を「N」としている。

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

## 1.4 回答者属性〔第1回～第5回共通設問〕

- 普段の外出状況を見ると、「週に6日以上」外出する方は、年齢が高齢になるにつれて減少傾向にあります。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前である第3回（令和元年11～12月実施）と比べると、74歳以下の方は、ほぼ同じ傾向にあります。75歳以上は外出頻度が減少しています。
- 自動車等の保有状況を年齢別に見ると、「自動車（自分で運転する）」は55～74歳の方の割合が高く、「自転車」は全ての世代において保有割合が高く、75歳以上で約4割を占めています（※第1～4回と同じ傾向）。
- 運転免許証の保有状況を年齢別に見ると、「自動車」は65～74歳の方で約7割を占め、「持っていない」は高齢になるにつれて増加傾向にあります（※これまでの第1～4回と同じ傾向）。

【普段の外出頻度（年齢別）】

	週に6日以上	週に4～5日	週に2～3日	週に1日	2週間に1日	3週間に1日	1か月に1日以下	総計
全体(n=195)	31%	27%	28%	11%	2%	1%	1%	100%
20歳～54歳(n=36)	56%	19%	17%	8%	0%	0%	0%	100%
55歳～64歳(n=38)	50%	26%	16%	8%	0%	0%	0%	100%
65歳～74歳(n=61)	23%	33%	31%	10%	0%	2%	2%	100%
75歳以上(n=54)	7%	28%	43%	15%	6%	0%	2%	100%

【参考】第3回（令和2年11～12月実施）の結果

	週に6日以上	週に4～5日	週に2～3日	週に1日	2週間に1日	3週間に1日	1か月に1日以下	総計
全体(n=280)	33%	25%	31%	5%	2%	2%	3%	100%
20歳～54歳(n=43)	56%	28%	14%	2%	0%	0%	0%	100%
55歳～64歳(n=54)	54%	19%	22%	6%	0%	0%	0%	100%
65歳～74歳(n=97)	24%	31%	38%	2%	2%	1%	2%	100%
75歳以上(n=86)	17%	21%	37%	8%	5%	5%	7%	100%

【自動車等の保有状況（年齢別）】

	自動車（自分で運転する）	自動車（家族が運転する）	自動二輪・原付	自転車	その他	持っていない	総計
全体(N=271、n=194)	37%	27%	6%	50%	1%	19%	140%
20歳～54歳(N=57、n=37)	35%	41%	5%	59%	0%	14%	154%
55歳～64歳(N=57、n=37)	49%	30%	11%	54%	0%	11%	154%
65歳～74歳(N=88、n=61)	51%	23%	7%	51%	0%	13%	144%
75歳以上(N=61、n=53)	17%	17%	2%	38%	4%	38%	115%

※複数回答（自動車等の保有状況）

【運転免許証の保有状況（年齢別）】

	自動車	自動二輪・原付	その他	持っていない	総計
全体(N=229、n=194)	57%	21%	1%	40%	118%
20歳～54歳(N=46、n=37)	76%	30%	0%	19%	124%
55歳～64歳(N=47、n=37)	70%	30%	3%	24%	127%
65歳～74歳(N=72、n=61)	67%	21%	0%	30%	118%
75歳以上(N=57、n=53)	25%	8%	2%	74%	108%

※複数回答（運転免許証の保有状況）

## 1.5 普段の外出状況〔第1回～第5回共通設問〕

### (1) 平日に一番よく行く外出先について

- 外出目的を年齢別で見ると、20～54歳は通勤の外出が5割以上、55歳以上では買い物目的の外出が約6割～約7割を占めています（※第2回～第4回と同じ傾向）。
- 平日に一番よく行く外出先を見ると、豊中市内が約6割を占めています。外出先の内訳を見ると、隣接市である尼崎市の阪急園田駅周辺が最も多く、次いで豊中市内の阪急服部天神駅周辺、阪急岡町駅周辺です（※第2回～第4回と概ね同じ傾向）。
- 外出目的を主な外出先で見ると、外出先が豊中市内と尼崎市では「買い物」の割合、大阪市では「通勤」の割合が最も高くなっています。

【外出目的】

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	総計
全体(n=208)	20%	0%	61%	10%	4%	5%	100%
20歳～54歳(n=37)	51%	0%	38%	3%	3%	5%	100%
55歳～64歳(n=39)	28%	0%	59%	0%	3%	10%	100%
65歳～74歳(n=64)	14%	0%	66%	8%	6%	6%	100%
75歳以上(n=59)	3%	0%	71%	22%	3%	0%	100%

【平日に一番よく行く外出先の内訳】

主な外出先	回答数	割合
<b>豊中市内</b>	<b>128</b>	<b>62%</b>
阪急服部天神駅周辺	46	22%
阪急岡町駅周辺	28	14%
阪急豊中駅周辺	24	12%
阪急庄内駅周辺	11	5%
その他豊中市内	10	5%
阪急曽根駅周辺	9	4%
(未回答)	0	0%
<b>隣接市</b>	<b>76</b>	<b>37%</b>
尼崎市	54	26%
阪急園田駅	47	23%
その他尼崎市	4	2%
(未回答)	3	1%
大阪市	18	9%
伊丹市	2	1%
吹田市	1	0%
(未回答)	1	0%
<b>その他府県</b>	<b>2</b>	<b>1%</b>
京都府	2	1%
<b>その他兵庫県内</b>	<b>1</b>	<b>0%</b>
西宮市	1	0%
<b>その他大阪府内</b>	<b>0</b>	<b>0%</b>
<b>計</b>	<b>207</b>	<b>100%</b>

【外出目的（主な外出先別）】

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	総計
全体(n=208)	20%	0%	61%	10%	4%	5%	100%
豊中市内	阪急服部天神駅周辺(n=46)	7%	0%	72%	9%	2%	11%
	阪急岡町駅周辺(n=28)	4%	0%	61%	21%	7%	7%
	阪急豊中駅周辺(n=24)	17%	0%	54%	17%	4%	8%
隣接市	尼崎市(n=53)	23%	0%	70%	6%	2%	0%
	うち阪急園田駅周辺(n=46)	20%	0%	72%	7%	2%	0%
	大阪市(n=18)	83%	0%	6%	6%	6%	0%

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

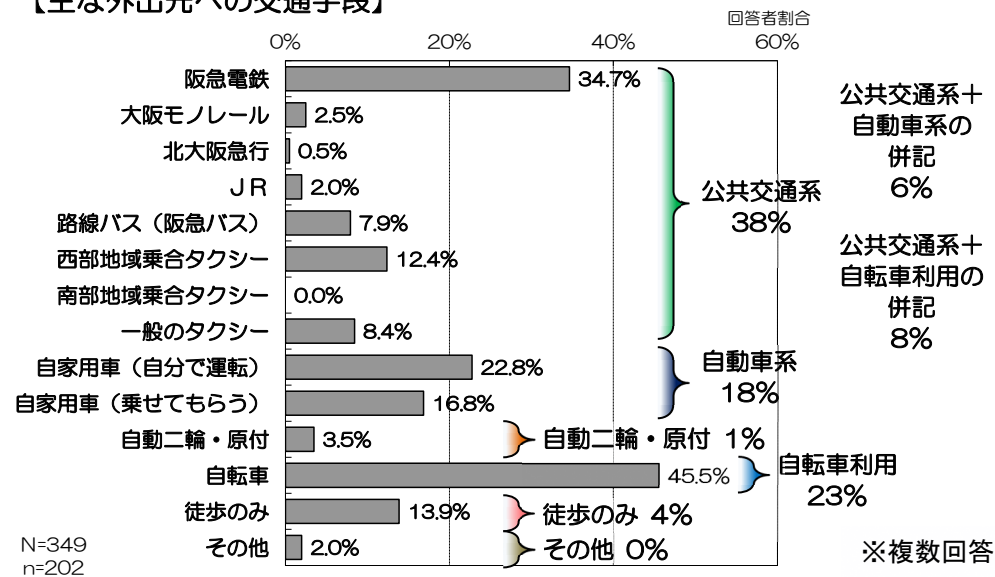
- 主な外出先の内訳を住まいの地区別に見ると、走井地区や勝部地区では「阪急岡町駅周辺」、利倉西地区では「阪急園田駅周辺」、利倉地区では「阪急服部天神駅周辺」が最も多い状況です（※第2回～第4回と同じ傾向）。
- 主な外出先への交通手段を見ると、公共交通系が約4割、自動車系（自分で運転+乗せてもらう）と自転車系（自分で運転+乗せてもらう）と自転車がともに約2割を占めています。

【主な外出先の内訳（住まいの地区別）】

		豊中市内					
		阪急豊中駅周辺	阪急岡町駅周辺	阪急曾根駅周辺	阪急服部天神駅周辺	阪急庄内駅周辺	その他豊中市内
西部地域 北路線 沿線	走井地区(n=34)	29%	44%	0%	3%	3%	6%
	勝部地区(n=19)	37%	42%	5%	0%	0%	11%
	隣接地区(n=7)	14%	14%	29%	14%	14%	14%
西部地域 南路線 沿線	利倉西地区(n=83)	2%	0%	2%	14%	10%	4%
	利倉地区(n=39)	5%	5%	8%	64%	0%	5%
	隣接地区(n=6)	0%	0%	0%	50%	17%	0%

		豊中市内							計	
		大阪市	吹田市	箕面市	池田市	伊丹市	阪急園田駅周辺	その他尼崎市		
西部地域 北路線 沿線	走井地区(n=34)	12%	0%	0%	0%	0%	3%	0%	100%	
	勝部地区(n=19)	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
	隣接地区(n=7)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
西部地域 南路線 沿線	利倉西地区(n=83)	12%	1%	0%	0%	0%	49%	5%	100%	
	利倉地区(n=39)	8%	0%	0%	0%	3%	3%	0%	100%	
	隣接地区(n=6)	0%	0%	0%	0%	17%	17%	0%	100%	

【主な外出先への交通手段】



※ 公共交通系、自動車系、公共交通系+自動車系の併記、その他の構成比は、代表交通手段に基づいて集計したものを示す。  
代表交通手段とは、複数の交通手段を利用した場合、利用手段の中から主な手段を示すものであり、鉄道、バス、乗用車、自動二輪・原付、自転車、徒歩の順としている。

【代表交通手段分担率の推移】

	自動車系	自動車系(乗せてもらう)+公共交通系の併記	公共交通系	公共交通系+自転車利用の併記	自動二輪・原付	自転車利用	徒歩のみ	その他	計
第1回	38%	4%	10%	8%	6%	29%	4%	1%	100%
第2回	31%	8%	18%	13%	2%	21%	5%	1%	99%
第3回	31%	3%	19%	7%	3%	32%	3%	2%	100%
第4回	18%	8%	29%	8%	5%	27%	4%	0%	100%
第5回	18%	6%	38%	8%	1%	23%	4%	0%	100%

(2) 休日に一番よく行く外出先について

- 外出目的を年齢別で見ると、全ての世代において「買い物」の外出が最も多い状況です（※第4回と同じ傾向、第3回では65～74歳以上の方が「買い物」（7割以上）、20～54歳の方は「娯楽・レジャー」（約5割）の外出が最も多い状況です）。
- 休日に一番よく行く外出先を見ると、隣接市が約6割、豊中市内が4割以上を占めています。外出先の内訳を見ると、隣接市である尼崎市の阪急園田駅周辺が最も多く、次いで豊中市内の阪急服部天神駅周辺及び大阪市です。
- 外出目的を主な外出先で見ると、大阪市では「娯楽・レジャー」、それ以外は「買い物」が最も多くを占めています（※第3回と同じ傾向）。

【外出目的】

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	総計
全体(n=180)	3%	0%	69%	1%	19%	8%	100%
20歳～54歳(n=37)	8%	0%	59%	0%	24%	8%	100%
55歳～64歳(n=36)	8%	0%	69%	0%	22%	0%	100%
65歳～74歳(n=57)	0%	0%	67%	2%	25%	7%	100%
75歳以上(n=46)	0%	0%	80%	2%	7%	11%	100%

【休日に一番よく行く外出先の内訳】

主な外出先	回答数	割合
<b>隣接市</b>	<b>99</b>	<b>55%</b>
尼崎市	51	28%
阪急園田駅	31	17%
その他尼崎市	15	8%
(未回答)	5	3%
大阪市	28	15%
伊丹市	14	8%
吹田市	2	1%
箕面市	2	1%
池田市	1	1%
(未回答)	1	1%
<b>豊中市内</b>	<b>78</b>	<b>43%</b>
阪急服部天神駅周辺	28	15%
阪急岡町駅周辺	14	8%
阪急庄内駅周辺	12	7%
阪急豊中駅周辺	11	6%
その他豊中市内	7	4%
阪急曾根駅周辺	6	3%
(未回答)	0	0%
<b>その他兵庫県内</b>	<b>3</b>	<b>2%</b>
神戸市	2	1%
三田市	1	1%
<b>その他府県</b>	<b>1</b>	<b>1%</b>
和歌山県	1	1%
<b>その他大阪府内</b>	<b>0</b>	<b>0%</b>
<b>計</b>	<b>181</b>	<b>100%</b>

【外出目的（主な外出先別）】

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	総計
全体(n=180)	3%	0%	69%	1%	19%	8%	100%
豊中市内	阪急服部天神駅周辺(n=27)	4%	0%	78%	4%	11%	4%
	阪急岡町駅周辺(n=14)	0%	0%	86%	7%	7%	0%
	阪急庄内駅周辺(n=12)	0%	0%	83%	0%	17%	0%
隣接市	尼崎市(n=50)	4%	0%	78%	0%	14%	4%
	うち阪急園田駅周辺(n=30)	7%	0%	80%	0%	10%	3%
	大阪市(n=27)	4%	0%	33%	0%	52%	11%
伊丹市(n=14)	0%	0%	79%	0%	14%	7%	

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

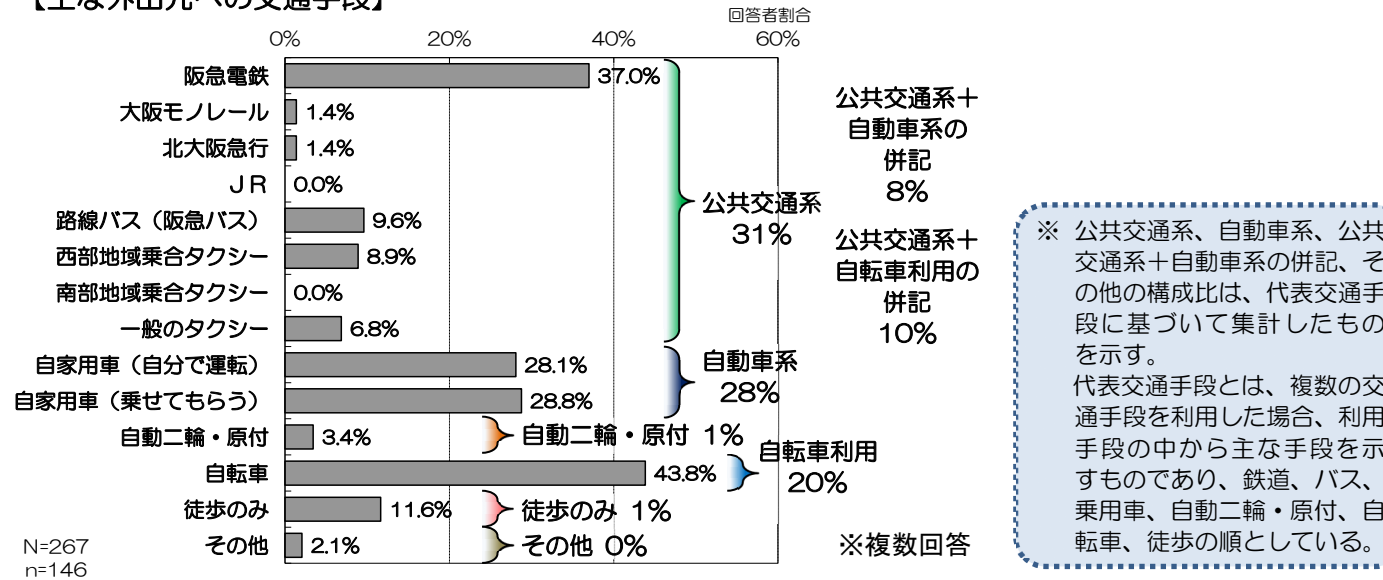


- ▶ 主な外出先の内訳を住まいの地区別に見ると、走井地区では「阪急豊中駅周辺」、勝部地区では「阪急岡町駅周辺」、利倉西地区では「阪急園田駅周辺」、利倉地区では「阪急服部天神駅周辺」が最も多い状況です（※第3回～第4回と同じ傾向）。
- ▶ 主な外出先への交通手段を見ると、自動車系（自分で運転+乗せてもらう）が約3割、自転車系が約2割、公共交通系が約3割を占めています（※第3回と同じ傾向）。

【主な外出先の内訳（住まいの地区別）】

		豊中市内						尼崎市							
		阪急豊中駅周辺	阪急岡町駅周辺	阪急曾根駅周辺	阪急服部天神駅周辺	阪急庄内駅周辺	その他豊中市内	大阪市	吹田市	箕面市	池田市	伊丹市	阪急園田駅周辺	その他尼崎市	計
西部地域北路線沿線	走井地区 (n=28)	32%	29%	0%	0%	7%	4%								
	勝部地区 (n=15)	0%	33%	13%	0%	0%	20%								
	隣接地区 (n=5)	20%	0%	20%	20%	0%	0%								
西部地域南路線沿線	利倉西地区 (n=76)	0%	0%	1%	7%	8%	1%								
	利倉地区 (n=34)	0%	3%	6%	56%	9%	3%								
	隣接地区 (n=4)	0%	0%	0%	25%	25%	0%								
西部地域北路線沿線	走井地区 (n=28)	11%	0%	4%	0%	11%	4%							100%	
	勝部地区 (n=15)	20%	0%	0%	0%	13%	0%							100%	
	隣接地区 (n=5)	20%	20%	0%	0%	0%	0%							100%	
西部地域南路線沿線	利倉西地区 (n=76)	24%	1%	1%	0%	5%	33%							100%	
	利倉地区 (n=34)	6%	0%	0%	3%	9%	3%							100%	
	隣接地区 (n=4)	25%	0%	0%	0%	25%	0%							100%	

【主な外出先への交通手段】



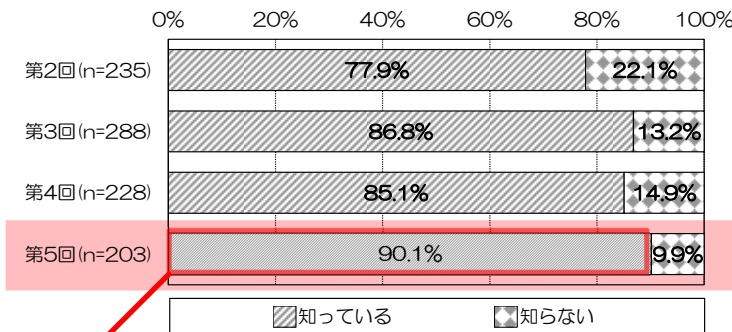
【代表交通手段分担率の推移】

	自動車系	自動車系(乗せてもらう)+公共交通系の併記	公共交通系	公共交通系+自転車利用の併記	自動二輪・原付	自転車利用	徒歩のみ	その他	計
第1回	42%	1%	11%	12%	5%	24%	3%	1%	100%
第2回	31%	12%	22%	8%	1%	20%	5%	1%	100%
第3回	43%	3%	17%	9%	3%	22%	3%	1%	100%
第4回	38%	3%	25%	5%	3%	22%	4%	0%	100%
第5回	28%	8%	31%	10%	1%	20%	1%	0%	100%

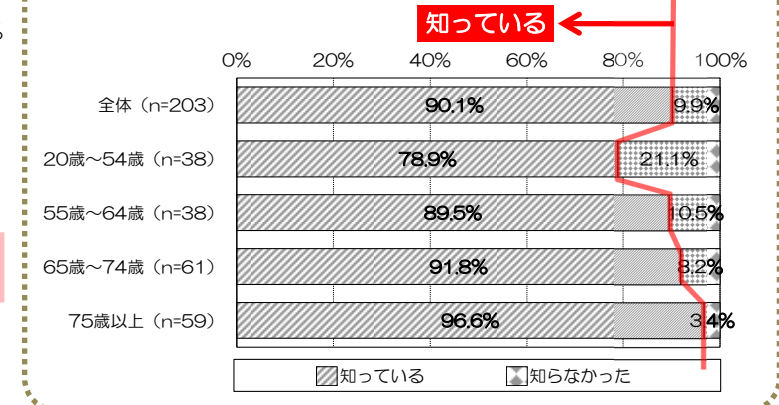
## 1.6 西部地域乗合タクシーの認知状況〔第2回～第5回一部共通設問〕

- ▶ 西部地域乗合タクシーの認知度は、「知っている」が約9割を占めています。
- ▶ 年齢別で見ると、20歳～54歳は「知っている」が約8割、55歳～64歳が約9割、65歳～74歳、75歳以上では9割以上を占めています。
- ▶ 西部地域乗合タクシーを知った方法を年齢別に見ると、20歳～54歳と65歳～74歳は「広報「とよなか」」及び「近所の停留所を見て」、55歳～64歳は「広報「とよなか」」、75歳以上は「町会からの配布物・回覧板」が最も多い状況です。

【西部地域乗合タクシーの認知度】



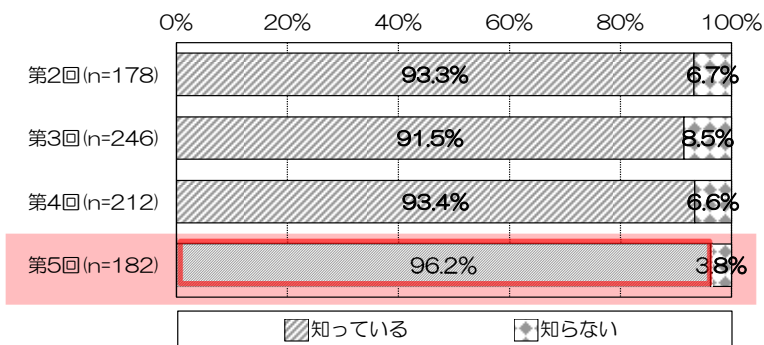
【西部地域乗合タクシーの認知度（年齢別）】



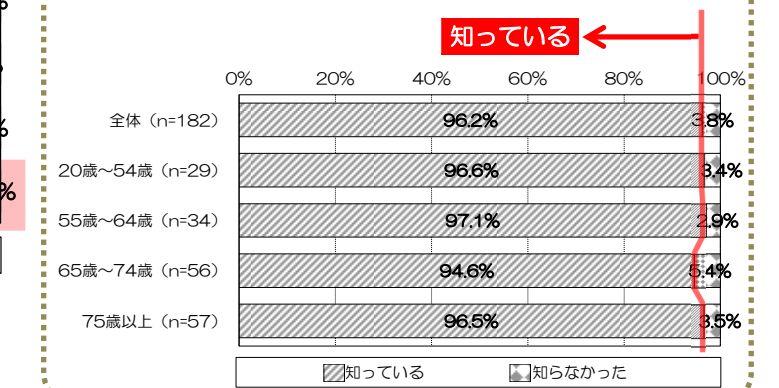
【西部地域乗合タクシーを知った方法（年齢別）】

	広報「とよなか」	豊中市ホームページ	町会からの配布物・回覧板	説明会に参加した	知人・友人・近所の方から教えてもらった	近所の停留所を見て	今回のアンケートで知った	その他	総計
全体 (n=180)	29%	0%	28%	8%	5%	29%	0%	1%	100%
20歳～54歳 (n=28)	36%	0%	25%	0%	4%	36%	0%	0%	100%
55歳～64歳 (n=34)	35%	0%	26%	3%	3%	29%	0%	3%	100%
65歳～74歳 (n=56)	34%	0%	20%	5%	7%	34%	0%	0%	100%
75歳以上 (n=56)	16%	0%	39%	18%	5%	20%	0%	2%	100%

【住まいの近くにある停留所位置の認知状況（年齢別）】



【住まいの近くにある停留所位置の認知状況（年齢別）】

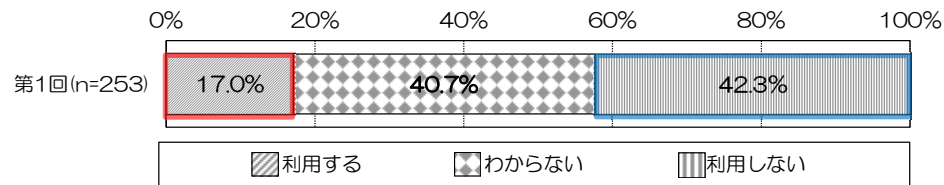


※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

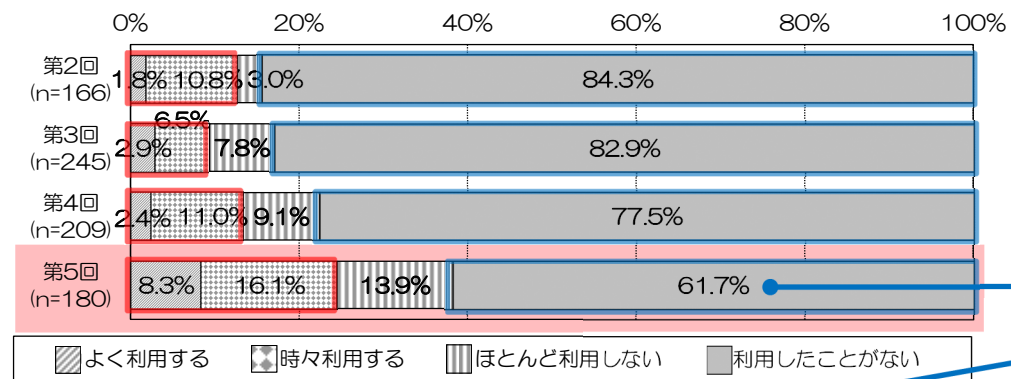
## 1.7 西部地域乗合タクシーの利用意向について

- ▶ 西部地域乗合タクシーの利用状況は、「利用する（よく利用する+時々利用する）」が2割以上であり、「利用したことがない」が6割以上を占めています。「利用する（よく利用する+時々利用する）」の割合は増加傾向にあります。
- ▶ 西部地域乗合タクシーを利用しない理由は、「自転車やバイクで移動する」が最も多く、次いで「自動車で移動する」、「予約するのがめんどうだから」です。現時点では、他の移動手段を利用できる状況にあるという理由が上位を占めています（※第3回～第4回と同じ傾向）。

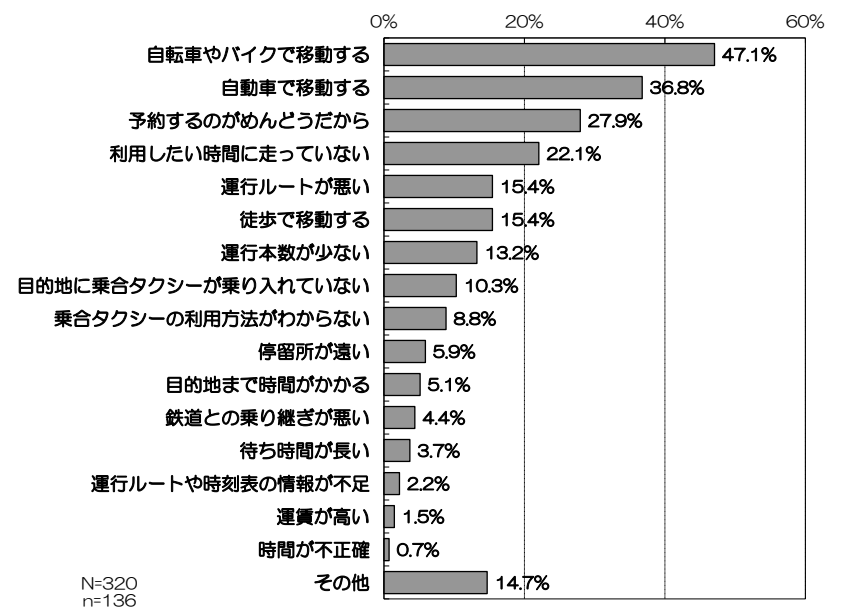
【西部地域乗合タクシーの利用意向（運行開始前）】



【西部地域乗合タクシーの利用状況（運行開始後）】



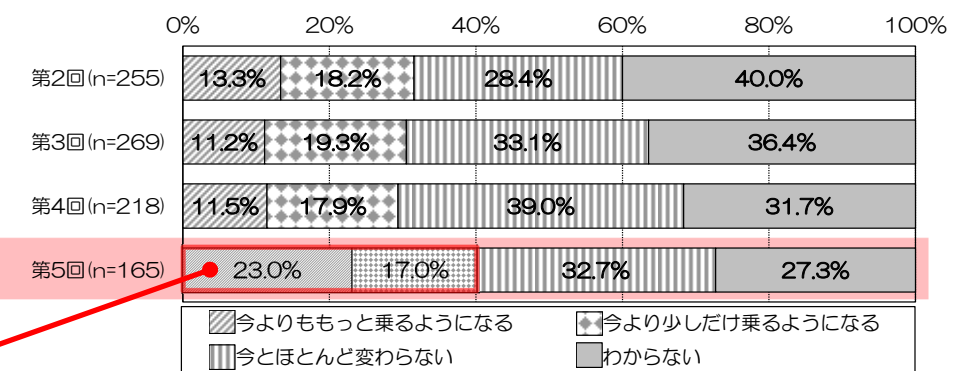
【西部地域乗合タクシーを利用しない理由】



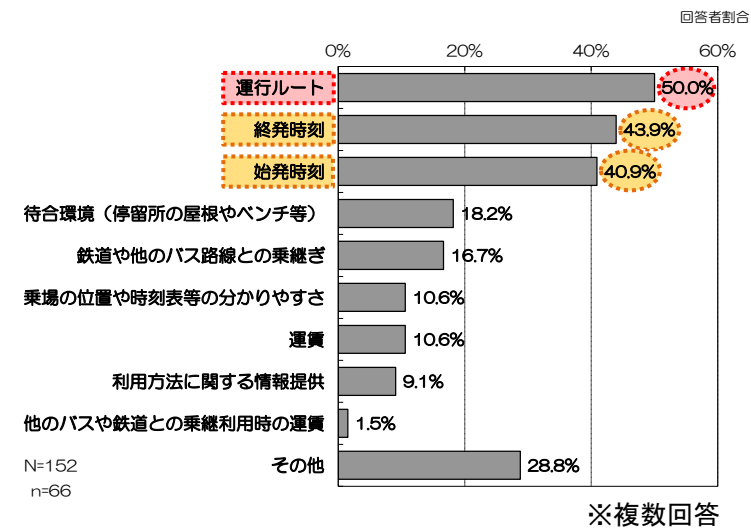
※複数回答

- ▶ 西部地域乗合タクシーのサービスが改善された場合における利用意向は、「今よりも乗るようになる（今よりもっと乗るようになる+今より少しだけ乗るようになる）」が約4割です。第4回以前と比べ高くなっています。
- ▶ 西部地域乗合タクシーの利用が増えるために必要な改善は、「運行ルート」が最も多く、次いで「始発時間」、「終発時間」の順です。また、「始発時間」、「終発時間」の回答者割合は、第4回と比べ高くなっています（※第2回～第4回と同じ傾向）。

【西部地域乗合タクシーのサービスが改善された場合における利用意向】

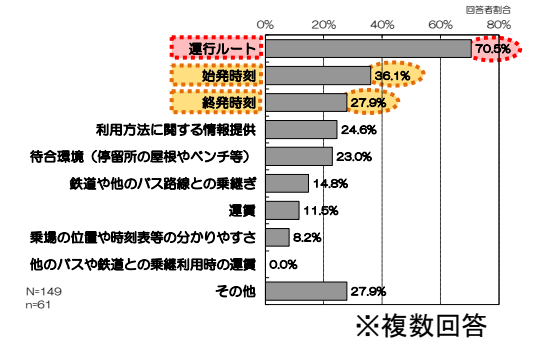


【西部地域乗合タクシーの利用が増えるために必要な改善】



※複数回答

【参考】第4回（令和3年9～10月実施）の結果



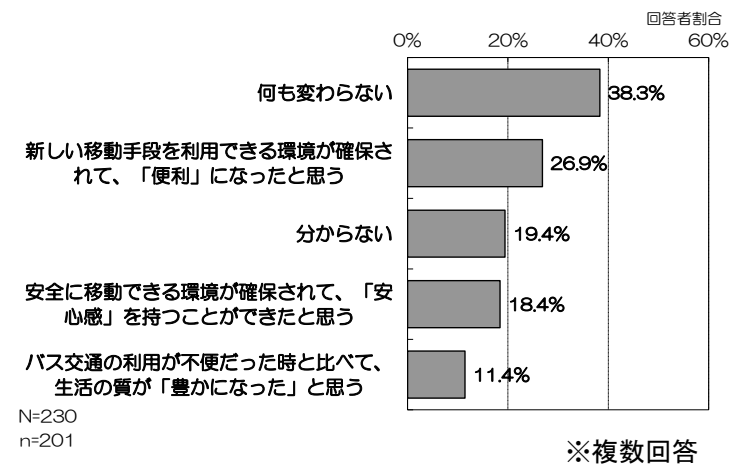
※複数回答



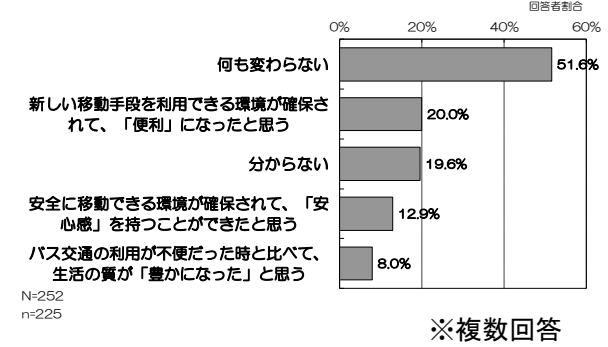
## 1.8 西部地域乗合タクシーの事業効果について

- ▶ 西部地域乗合タクシーの運行による生活環境の変化は、「何も変わらない」が最も多く、次いで「新しい移動手段を利用できる環境が確保されて、「便利」になったと思う」、「分からない」、「安全に移動できる環境が確保されて、「安心感」を持つことができたと思う」の順です。「何も変わらない」の割合が第4回と比べ減少しています。
- ▶ 西部地域乗合タクシーの運行による外出機会の変化は、「変わらない」が約71%と最も多く、次いで「分からない」が約13%、「外出する機会が増えた」が約12%です。「外出する機会が増えた」の割合が第4回以前と比べ増加しています。

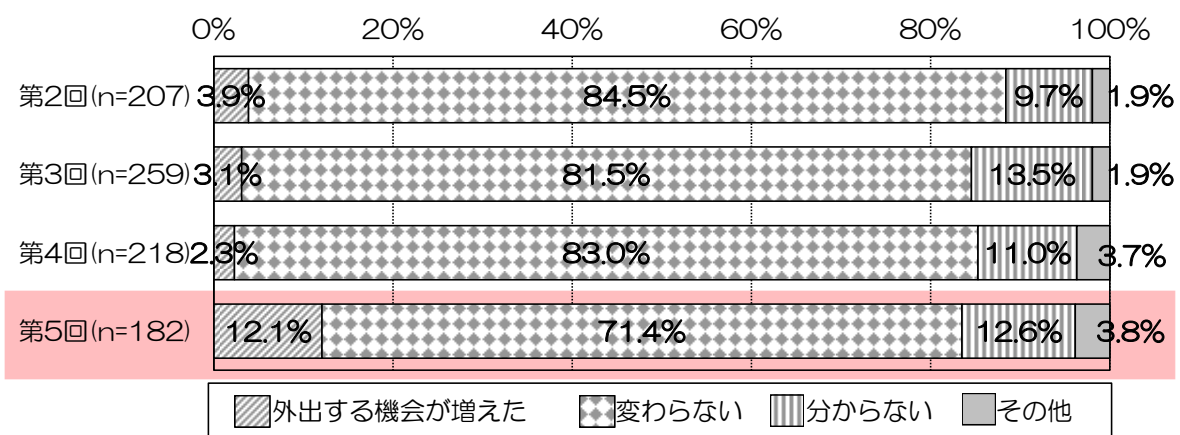
【西部地域乗合タクシーの運行による生活環境の変化】



【参考】第4回（令和3年9～10月実施）の結果



【西部地域乗合タクシーの運行による外出機会の変化】

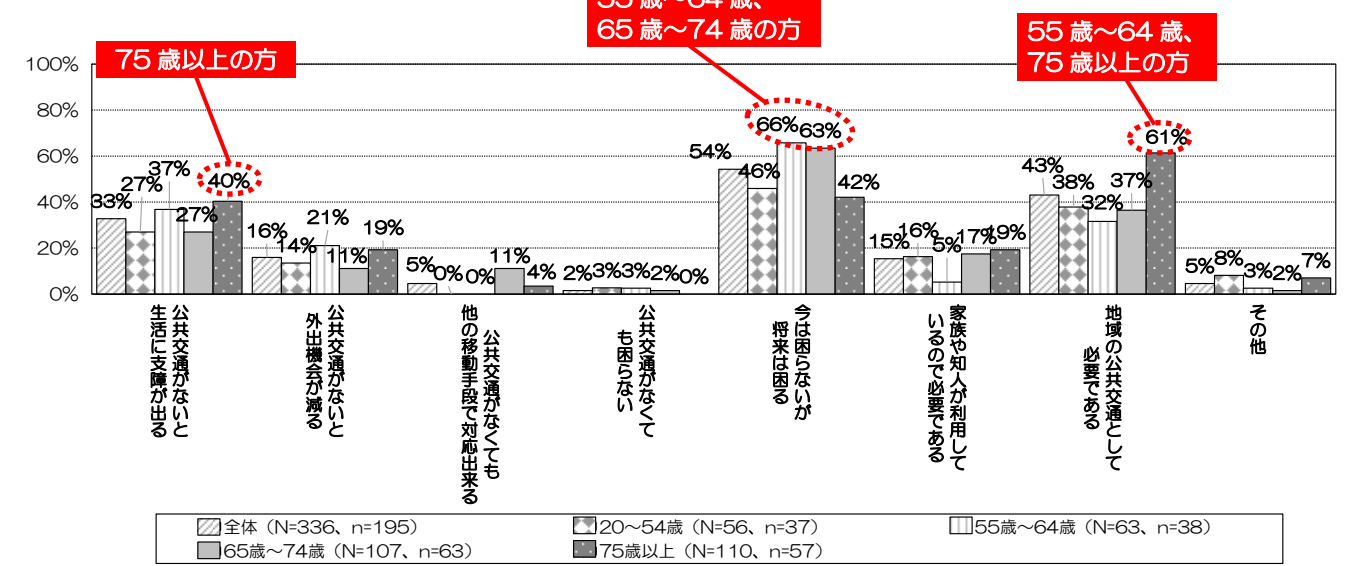


## 1.9 公共交通の必要性について〔第1回～第5回共通設問〕

### (1) 公共交通の必要性

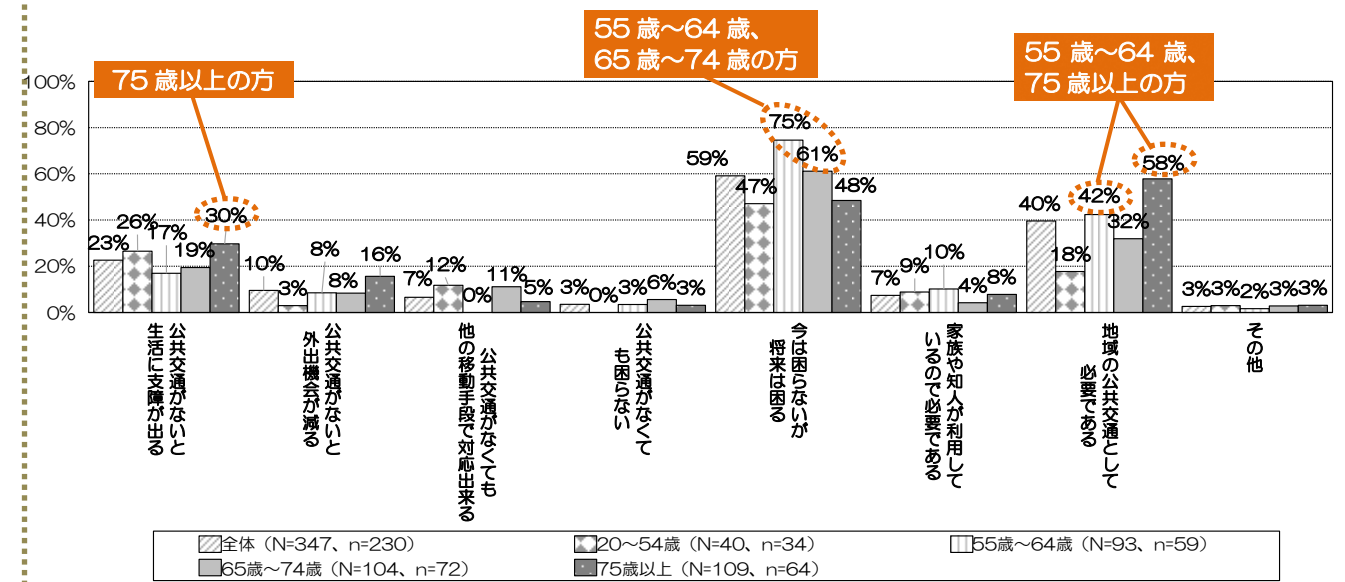
- ▶ 公共交通の必要性は、「今は困らないが将来は困る」が最も多く、ついで「地域の公共交通として必要である」、「公共交通がないと生活に支障が出る」の順です（※第3回～第4回と同じ傾向）。
- ▶ 公共交通の必要性を年齢別に見ると、「今は困らないが将来は困る」は55歳～64歳及び65歳～74歳の方で多く、「地域の公共交通として必要である」が75歳以上の方が多い状況です。また、「公共交通がないと生活に支障が出る」は75歳以上の方が多く状況です（※第3回と第4回で概ね同じ傾向）。

【公共交通の必要性（年齢別）】



※複数回答（公共交通の必要性）

【参考】第4回（令和3年9～10月実施）の結果



※複数回答（公共交通の必要性）

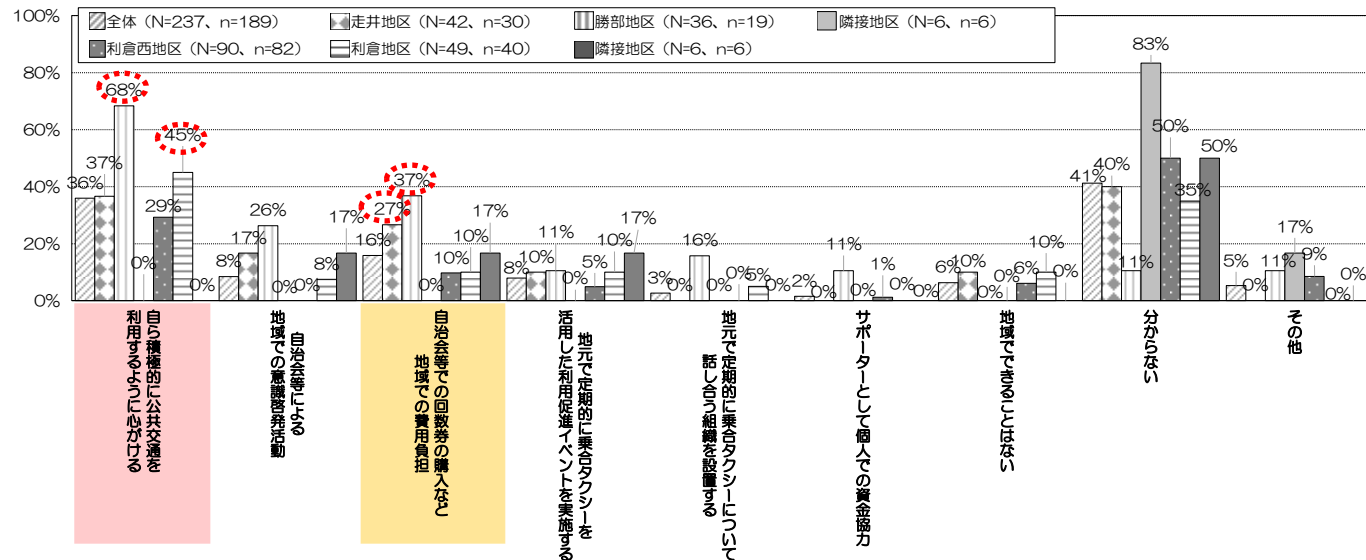
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

## (2) 公共交通の持続可能な運行を図るために地元や個人でできること

- ▶ 公共交通の持続可能な運行を図るために地元や個人でできることを住まいの地区別に見ると、「自ら積極的に公共交通を利用するように心がける」は、勝部地区が最も多く、次いで利倉地区、走井地区、利倉西地区の順です。
- ▶ 「自治会等での回数券の購入など地域での費用負担」は、勝部地区が最も多く、次いで走井地区の順です。

### 【公共交通の持続可能な運行を図るために地元や個人でできること（住まいの地区別）】

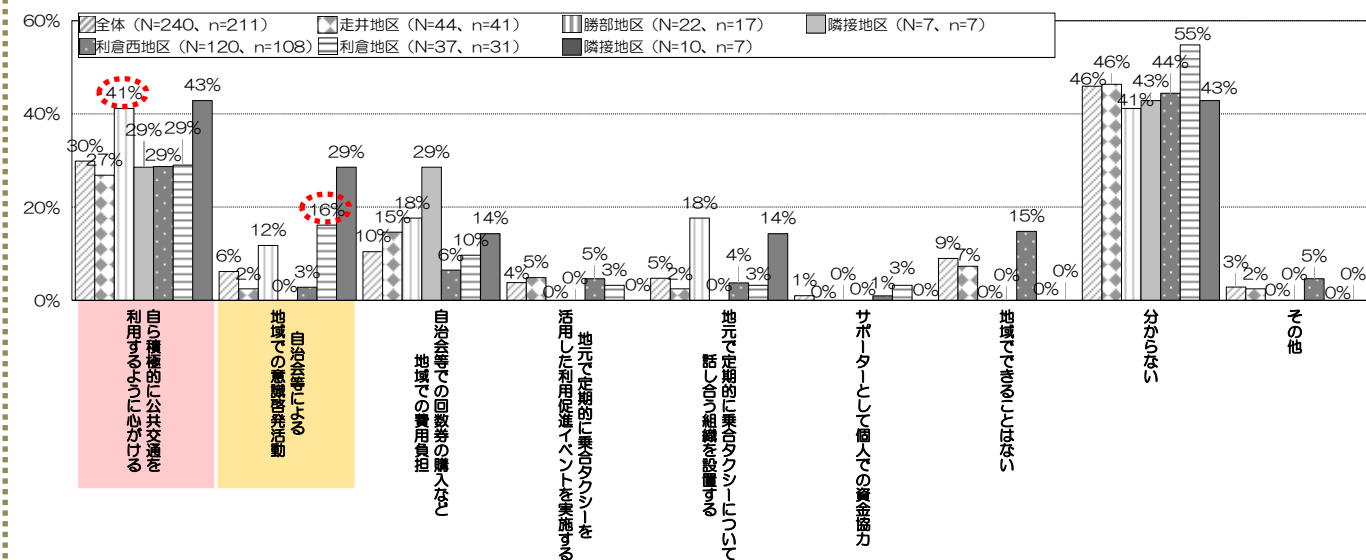
※隣接地区（西部地域北路線及び西部地域南路線）はサンプル数が少ないため参考扱い



※複数回答（公共交通の持続可能な運行を図るために地元や個人でできること）

### 【参考】第4回（令和3年9～10月）の結果

※隣接地区（西部地域北路線及び西部地域南路線）はサンプル数が少ないため参考扱い

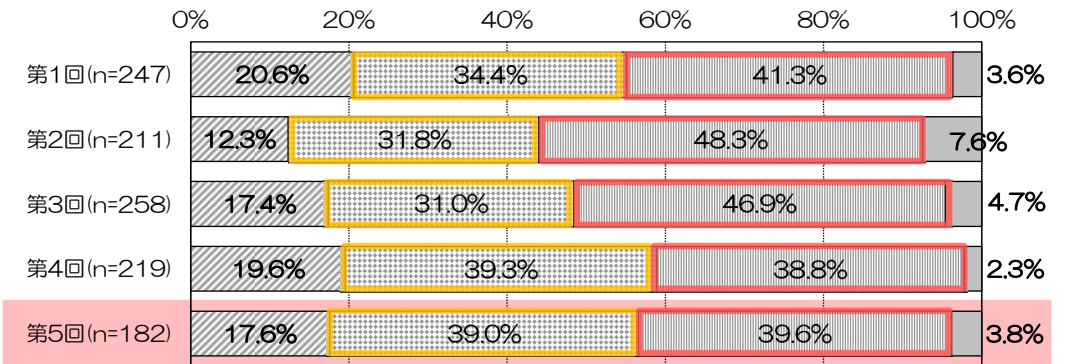


※複数回答（公共交通の持続可能な運行を図るために地元や個人でできること）

## (3) 公共交通を維持・確保することの必要性

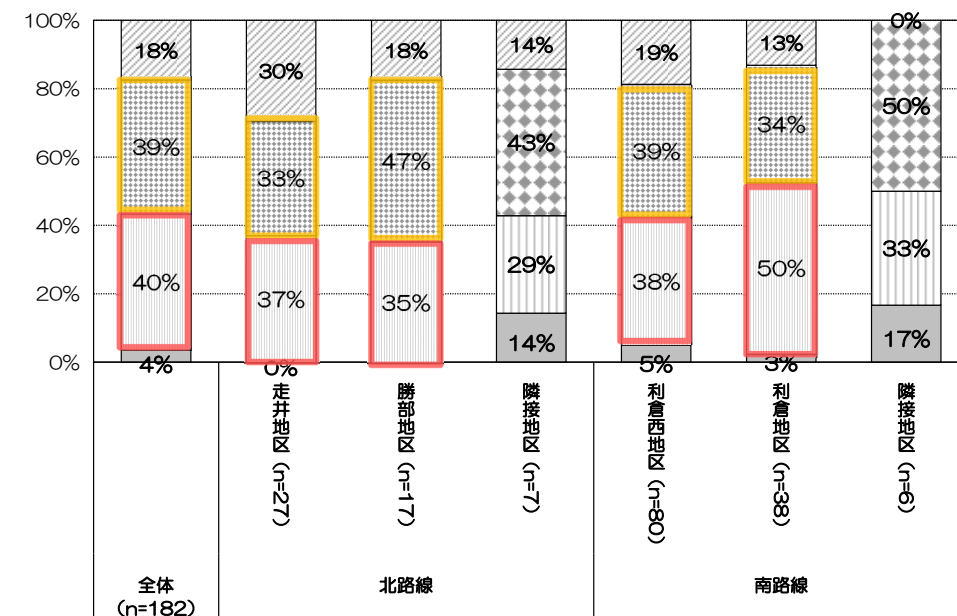
- ▶ 公共交通(路線バス等)を維持・確保することは必要だと思う理由は、「社会状況の変化(人口減少や少子高齢化)に対応し、公共交通(路線バス等)を現状よりも充実させて、利用促進を図るべき」と「社会状況の変化はあるが、現状の公共交通を維持していくべき」を合わせた割合が約8割を占めています（※第2回～第4回と同じ傾向）。
- ▶ 公共交通(路線バス等)を維持・確保することは必要だと思う理由を地域別に見ると、「社会状況の変化はあるが、現状の公共交通を維持していくべき」は、勝部地区（47%）が最も多く、次いで利倉西地区（約39%）、利倉地区（約34%）、走井地区（約33%）の順です。「社会状況の変化(人口減少や少子高齢化)に対応し、公共交通(路線バス等)を現状よりも充実させて、利用促進を図るべき」は、利倉地区（約50%）が最も多く、次いで利倉西地区（約38%）、走井地区（約37%）、勝部地区（約35%）の順です。

### 【公共交通(路線バス等)を維持・確保することは必要だと思う理由】



- 人口減少等の社会状況の変化により、公共交通(路線バス等)が縮小していくのはやむを得ない
- 社会状況の変化(人口減少や少子高齢化)はあるが、現状の公共交通(路線バス等)を維持していくべき
- 社会状況の変化(人口減少や少子高齢化)に対応し、公共交通(路線バス等)を現状よりも充実させて、利用促進を図るべき
- その他

### 【公共交通(路線バス等)を維持・確保することは必要だと思う理由（地域別）】



- 人口減少等の社会状況の変化により、公共交通(路線バス等)が縮小していくのはやむを得ない
- 社会状況の変化(人口減少や少子高齢化)はあるが、現状の公共交通(路線バス等)を維持していくべき
- 社会状況の変化(人口減少や少子高齢化)に対応し、公共交通(路線バス等)を現状よりも充実させて、利用促進を図るべき
- その他

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある



## 2. 南部地域住民アンケート

### 2.1 目的

- ▶ 南部地域乗合タクシーの沿線地域を対象に、住民の生活実態・交通行動等の公共交通に対するニーズをはじめ公共交通改善実施計画（交通不便地域改善施策・南部地域編）の運行評価指標及び運行改善参考指標として活用するための第3回アンケート調査を実施しました。

### 2.2 アンケート調査実施概要

#### (1) 調査方法

- ▶ 住民基本台帳から無作為抽出による郵送配布・郵送回収（6ヶ月以上在住者対象、町丁目別・年代別・性別に調査対象地区の人口構成に応じて均等抽出）

#### (2) 調査対象者

- ▶ 南部地域乗合タクシーを運行する地区に在住する20歳以上の市民

#### (3) 調査規模

- ▶ 南部地域乗合タクシー沿線地域に900部/回配布

#### (4) 調査時期

- ▶ 令和5年（2023年）9月14日（木）～9月29日（金）

#### (5) 調査項目

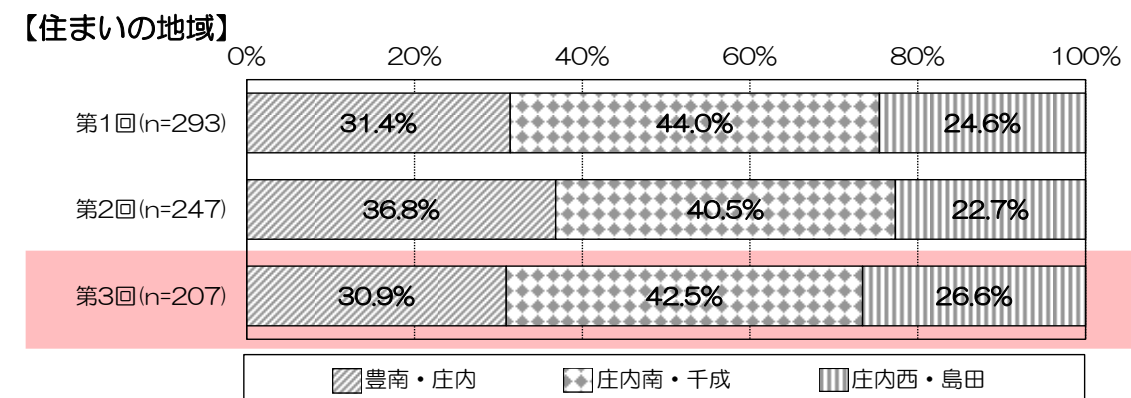
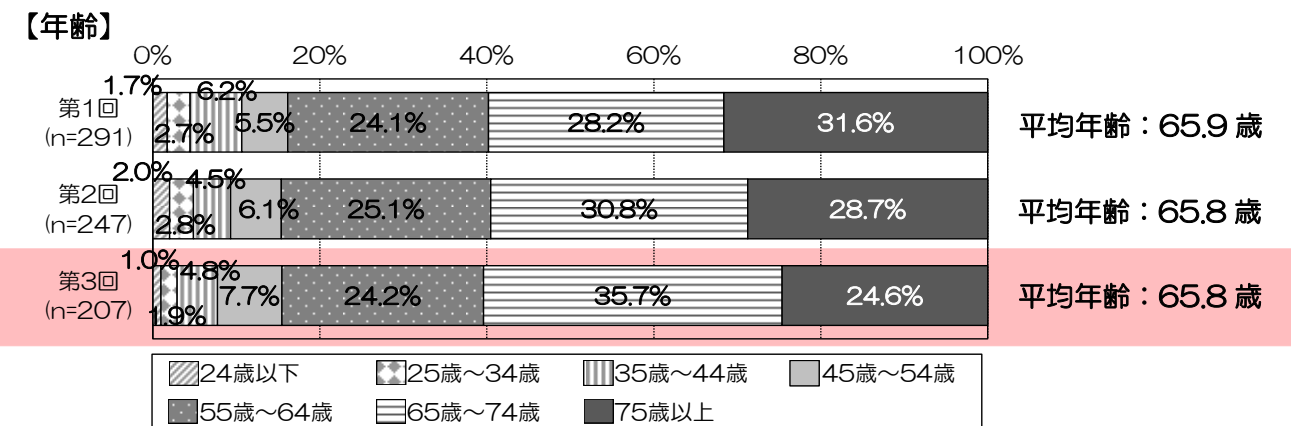
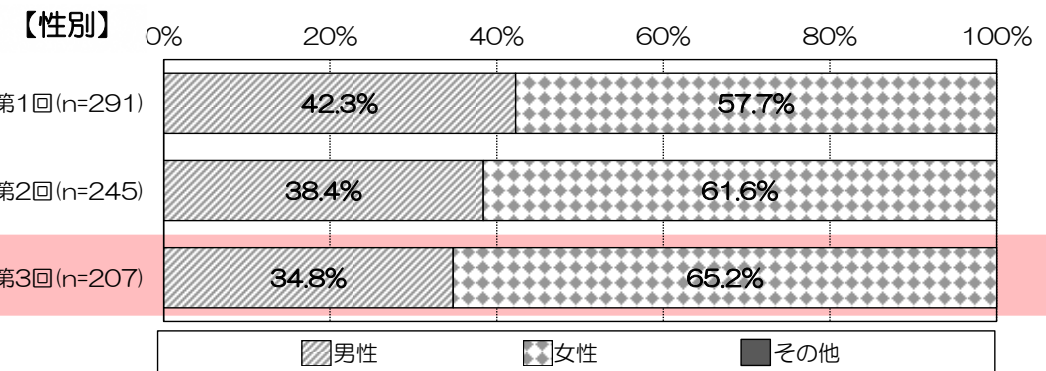
- ① 普段の外出状況
- ② 南部地域乗合タクシーの認知状況や利用意向について
- ③ 南部地域乗合タクシーの事業効果について
- ④ 公共交通の必要性について
- ⑤ 属性

#### 【参考】これまでの調査実施概要と回答状況

乗合タクシー	回数	実施時期	配布部数 (部)	回収部数 (部)	回答率
運行開始前	第1回	令和3年（2021年）1～2月	900	296	32.9%
運行開始後	第2回	令和3年（2021年）10～11月		253	28.1%

### 2.3 回答状況

- ▶ 回答部数は219票、回答率は24.3%です。
- ▶ 回答者の平均年齢は、65.8才であり、高齢者および10年以内に高齢者となる世代の割合が多いアンケートデータです。
- ▶ 回答者の住まいの地域は、南部地域路線沿線のうち、「庄内南・千成」小学校区が4割以上で最も多く、次いで「豊南・庄内」小学校区が3割以上、「庄内西・島田」小学校区が2割以上の順です。



#### 【サンプル数の見方について】

- ・基数となるべき実数は「n」（回答者数）、複数回答が可能な設問では総回答数を「N」としている。

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある



## 2.4 回答者属性〔第1回～第3回共通設問〕

- 普段の外出頻度を年齢別に見ると、「週に6日以上」外出する方は、年齢が高齢になるにつれて減少傾向にあります（※第1回～第2回と同じ傾向）。
- 自動車等の保有状況を年齢別に見ると、「自動車（自分で運転する）」は65～74歳及び75歳以上の方の割合は他世代よりも低い状況です（※第1回～第2回と同じ傾向）。「自転車」はいずれの世代においても保有割合が高く、75歳以上で5割以上を占め、「持っていない」は75歳以上で約3割を占めています（※第1回では「持っていない」は75歳以上で約5割）。
- 運転免許証の保有状況を年齢別に見ると、「自動車」は20～54歳で8割以上、55～64歳で約7割を占め、「持っていない」は、75歳以上で約9割を占めています（※第1回では「自動車」は65～74歳で約5割、「持っていない」は75歳以上で8割以上）。

【外出頻度（年齢別）】

	週に6日以上	週に4～5日	週に2～3日	週に1日	2週間に1日	3週間に1日	1か月に1日以下	総計
全体(n=202)	35%	31%	23%	5%	0%	1%	4%	100%
20～54歳(n=31)	55%	26%	19%	0%	0%	0%	0%	100%
55歳～64歳(n=49)	43%	39%	12%	2%	0%	2%	2%	100%
65歳～74歳(n=73)	34%	33%	22%	8%	1%	1%	0%	100%
75歳以上(n=45)	18%	22%	40%	7%	0%	0%	13%	100%

【参考】南部地域住民アンケート第1回（令和3年（2021年）1～2月実施）の結果

	週に6日以上	週に4～5日	週に2～3日	週に1日	2週間に1日	3週間に1日	1か月に1日以下	総計
全体(n=286)	39%	24%	27%	5%	1%	0%	4%	100%
20～54歳(n=47)	62%	17%	13%	6%	0%	0%	2%	100%
55歳～64歳(n=69)	46%	26%	22%	4%	1%	0%	0%	100%
65歳～74歳(n=81)	35%	30%	28%	4%	0%	0%	4%	100%
75歳以上(n=85)	25%	21%	36%	7%	4%	0%	7%	100%

【自動車等の保有状況（年齢別）】

	自動車（自分で運転する）	自動車（家族が運転する）	自動二輪・原付	自転車	その他	持っていない	総計
全体(N=286、n=204)	30%	27%	4%	61%	0%	17%	140%
20～54歳(N=53、n=31)	55%	42%	6%	58%	0%	10%	171%
55歳～64歳(N=76、n=49)	31%	31%	6%	63%	0%	24%	155%
65歳～74歳(N=96、n=72)	28%	26%	4%	65%	0%	10%	133%
75歳以上(N=53、n=47)	17%	13%	0%	53%	2%	28%	113%

※複数回答（自動車等の保有状況）

【運転免許証の保有状況（年齢別）】

	自動車	自動二輪・原付	その他	持っていない	総計
全体(N=226、n=202)	51%	12%	0%	49%	112%
20～54歳(N=39、n=31)	81%	26%	0%	19%	126%
55歳～64歳(N=59、n=49)	67%	20%	0%	33%	120%
65歳～74歳(N=77、n=71)	52%	10%	0%	46%	108%
75歳以上(N=46、n=46)	13%	0%	0%	87%	100%

※複数回答（運転免許証の保有状況）

## 2.5 普段の外出状況〔第1回～第3回共通設問〕

### (1) 平日に一番よく行く外出先について

- 外出目的を年齢別で見ると、20～64歳は通勤の外出が約5割、55～64歳、65～74歳及び75歳以上では買い物目的の外出が最も多くなっています。75歳以上では通院の外出が他の世代と比べて多くなっています（※第1回～第2回と概ね同じ傾向）。
- 平日に一番よく行く外出先を見ると、豊中市内が約8割と最も多く、次いで大阪市が1割以上を占めています。外出先の内訳を見ると、豊中市内の阪急庄内駅周辺が最も多く、次いで豊中市内のその他豊中市内、隣接市のその他大阪市内です（※第1回～第2回と同じ傾向）。
- 外出目的を主な外出先別に見ると、阪急庄内駅周辺やその他豊中市内は、「買い物」が6割以上を占め、大阪市は「通勤」が約7割を占めています（第1回～第2回と概ね同じ傾向）。

【外出目的（年齢別）】

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	総計
全体(n=215)	24%	0%	49%	15%	5%	6%	100%
20～54歳(n=32)	47%	3%	41%	6%	0%	3%	100%
55歳～64歳(n=50)	36%	0%	54%	4%	4%	2%	100%
65歳～74歳(n=73)	18%	0%	56%	10%	8%	8%	100%
75歳以上(n=51)	8%	0%	43%	35%	6%	8%	100%

【平日に一番よく行く外出先の内訳】

主な外出先	回答数	割合
<b>豊中市内</b>	<b>168</b>	<b>78%</b>
阪急庄内駅周辺	125	58%
その他豊中市内	38	18%
阪急曽根駅周辺	2	1%
阪急服部天神駅周辺	1	0%
(未回答)	2	1%
<b>隣接市</b>	<b>43</b>	<b>20%</b>
大阪市	30	14%
その他大阪市内	13	6%
阪急神崎川駅周辺	9	4%
阪急三国駅周辺	7	3%
(未回答)	1	0%
吹田市	7	3%
尼崎市	3	1%
伊丹市	2	1%
池田市	1	0%
<b>その他大阪府内</b>	<b>2</b>	<b>1%</b>
大阪府全域	1	0%
(未回答)	1	0%
<b>その他兵庫県内</b>	<b>1</b>	<b>0%</b>
神戸市	1	0%
<b>その他府県</b>	<b>1</b>	<b>0%</b>
東京都	1	0%
<b>計</b>	<b>215</b>	<b>100%</b>

【外出目的（主な外出先別）】

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	総計
全体(n=215)	24%	0%	49%	15%	5%	6%	100%
豊中市内							
阪急庄内駅周辺(n=124)	13%	0%	62%	14%	6%	5%	100%
その他豊中市内(n=38)	13%	0%	63%	16%	0%	8%	100%
隣接市							
大阪市(n=29)	66%	0%	10%	17%	3%	3%	100%
その他大阪市内(n=12)	75%	0%	8%	8%	3%	0%	100%
阪急神崎川駅周辺(n=9)	67%	0%	22%	11%	0%	0%	100%
阪急三国駅周辺(n=7)	43%	0%	0%	43%	0%	14%	100%

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

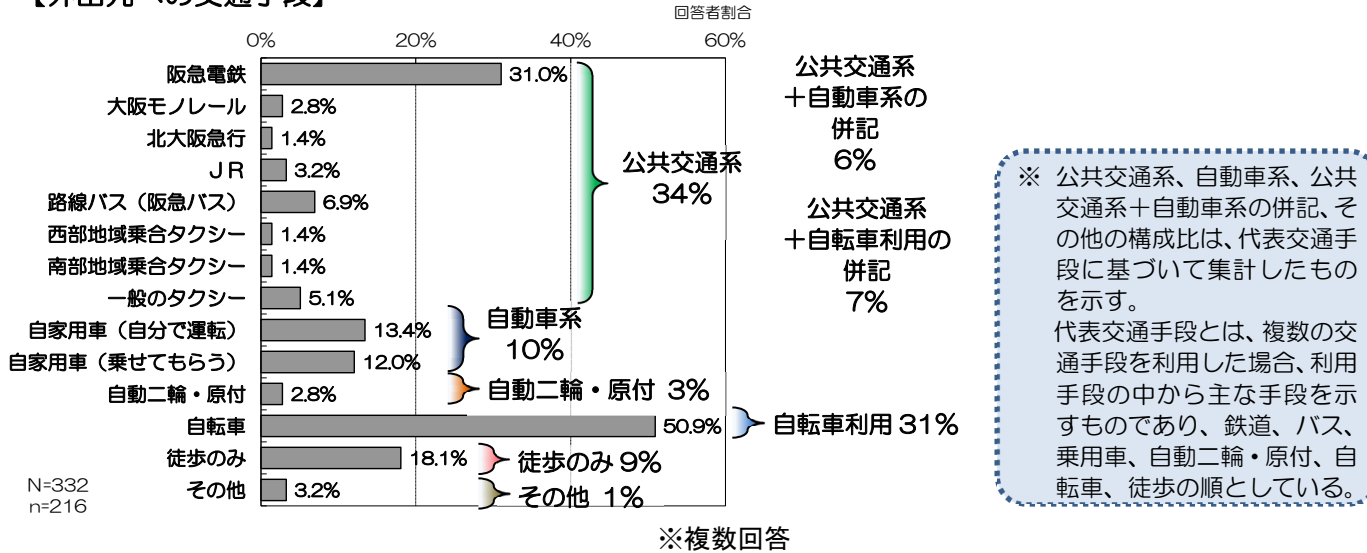
- ▶ 主な外出先の内訳を住まいの地区別で見ると、全ての地区において阪急庄内駅周辺が最も多く、次いで豊南・庄内地区及び庄内西・島田地区ではその他豊中市内、庄内南・千成地区では大阪市となっています（※第1回～第2回と概ね同じ傾向）。
- ▶ 外出先への交通手段を見ると、公共交通系と自転車利用がともに3割以上、自動車系（自分で運転+乗せてもらう）が約1割を占めています（※第1回～第2回と概ね同じ傾向）。

【主な外出先の内訳（住まいの地区別）】

	豊中市内					隣接市							
	豊南・庄内	庄内南・千成	庄内西・島田	その他豊中市内	(未回答)	大阪市	その他大阪府内	その他兵庫県内	その他府県	計			
全体(n=215)	78%	58%	2%	0%	1%	18%	2%	1%	14%	3%	4%	6%	0%
南部地域路線	豊南・庄内(n=64)	81%	56%	2%	0%	22%	2%	1%	11%	6%	0%	5%	0%
	庄内南・千成(n=88)	77%	60%	0%	1%	15%	1%	1%	16%	2%	5%	8%	1%
	庄内西・島田(n=55)	73%	53%	0%	2%	18%	0%	0%	15%	0%	9%	5%	0%

	隣接市							その他大阪府内	その他兵庫県内	その他府県	計
	吹田市	箕面市	池田市	伊丹市	尼崎市	(未回答)					
全体(n=215)	3%	0%	0%	1%	1%	0%	1%	0%	0%	0%	100%
南部地域路線	豊南・庄内(n=64)	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	100%
	庄内南・千成(n=88)	1%	0%	0%	2%	1%	0%	1%	1%	0%	100%
	庄内西・島田(n=55)	4%	0%	2%	0%	4%	0%	0%	4%	0%	100%

【外出先への交通手段】



【代表交通手段分担率の推移】

	自動車系	自動車系(乗せてもらう)+公共交通系の併記	公共交通系	公共交通系+自転車利用の併記	自動二輪・原付	自転車利用	徒歩のみ	その他	計
第1回	21%	2%	29%	7%	2%	27%	11%	1%	100%
第2回	12%	5%	33%	6%	3%	30%	10%	1%	100%
第3回	10%	6%	34%	7%	3%	31%	9%	1%	100%

(2) 休日に一番よく行く外出先について

- ▶ 外出目的を年齢別で見ると、全ての世代で「買い物」目的の外出が最も多い状況です（※第1回～第2回と同じ傾向）。
- ▶ 休日に一番よく行く外出先を見ると、豊中市内が約6割と最も多く、次いで隣接市が約3割を占めています。外出先の内訳を見ると、豊中市内の阪急庄内駅周辺が最も多く、次いで隣接市の大阪市と、その他大阪市内です（※第1回～第2回と同じ傾向）。
- ▶ 阪急庄内駅周辺やその他豊中市内では「買い物」の割合が最も高く、大阪市では「通勤」の割合が高くなっています。

【外出目的（年齢別）】

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	総計
全体(n=187)	5%	0%	65%	4%	18%	9%	100%
20～54歳(n=32)	13%	0%	63%	0%	22%	3%	100%
55歳～64歳(n=46)	9%	0%	72%	2%	7%	11%	100%
65歳～74歳(n=66)	0%	0%	64%	5%	23%	9%	100%
75歳以上(n=36)	3%	0%	67%	6%	14%	11%	100%

【休日に一番よく行く外出先の内訳】

主な外出先	回答数	割合
<b>豊中市内</b>	<b>113</b>	<b>59%</b>
阪急庄内駅周辺	82	43%
その他豊中市内	23	12%
阪急曾根駅周辺	3	2%
阪急服部天神駅周辺	1	1%
(未回答)	4	2%
<b>隣接市</b>	<b>68</b>	<b>36%</b>
大阪市	49	26%
その他大阪市内	41	21%
阪急神崎川駅周辺	5	3%
阪急三国駅周辺	2	1%
(未回答)	1	1%
尼崎市	8	4%
吹田市	5	3%
伊丹市	3	2%
箕面市	1	1%
池田市	1	1%
(未回答)	1	1%
<b>その他大阪府内</b>	<b>4</b>	<b>2%</b>
茨木市	1	1%
豊屋川市	1	1%
藤井寺市	1	1%
(未回答)	1	1%
<b>その他兵庫県内</b>	<b>3</b>	<b>2%</b>
猪名川町	1	1%
宝塚市	1	1%
川西市	1	1%
<b>その他府県</b>	<b>3</b>	<b>2%</b>
滋賀県	1	1%
近畿一円	1	1%
(未回答)	1	1%
<b>計</b>	<b>191</b>	<b>100%</b>

【外出目的（主な外出先別）】

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	総計
全体(n=187)	5%	0%	65%	4%	18%	9%	100%
豊中市内	5%	0%	82%	4%	4%	6%	100%
隣接市	43%	0%	35%	8%	4%	10%	100%
その他大阪市内(n=41)	46%	0%	32%	10%	2%	10%	100%

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

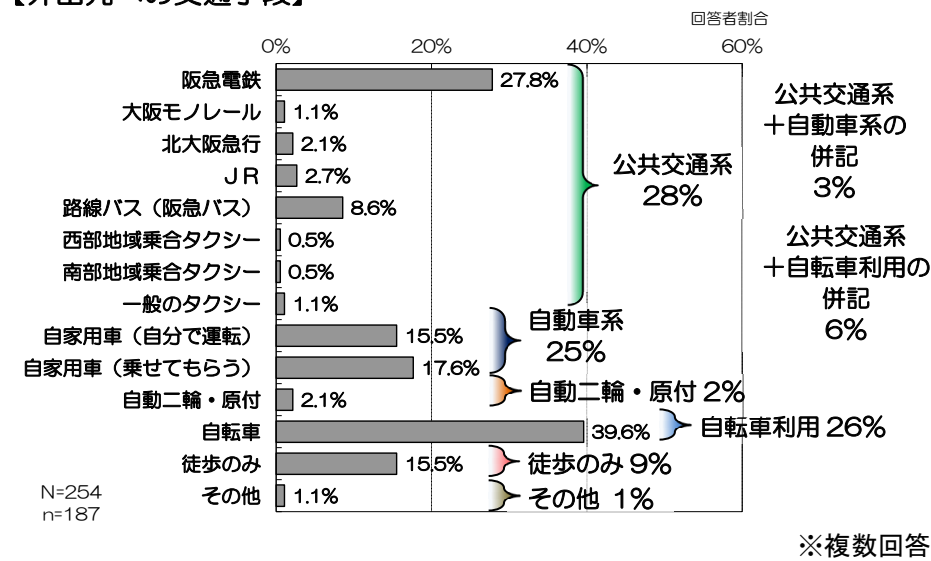
- ▶ 主な外出先の内訳を住まいの地区別で見ると、全ての地区において、阪急庄内駅周辺が最も多く、(※第1回と同じ傾向、第2回では庄内西・島田地区で大阪市が最も多い)。
- ▶ 外出先への交通手段を見ると、「自動車系(自分で運転+乗せてもらう)」、「公共交通系」及び「自転車利用」がともに約3割を占め、平日よりも「自動車系」の割合が高い状況です(※第1回~第2回と同じ傾向)。

【主な外出先の内訳(住まいの地区別)】

	豊中市内					隣接市						
	豊南・庄内	庄内南・千成	庄内西・島田	その他	(未回答)	大阪市	豊中市	吹田市	箕面市	池田市	伊丹市	尼崎市
全体(n=191)	59%	43%	1%	2%	12%	2%	26%	1%	3%	21%	1%	
南部地域路線	豊南・庄内(n=54)	69%	54%	0%	2%	11%	2%	11%	0%	3%	21%	1%
	庄内南・千成(n=82)	54%	38%	0%	0%	12%	4%	32%	1%	4%	26%	1%
	庄内西・島田(n=47)	55%	36%	2%	4%	13%	0%	32%	2%	2%	28%	0%

	隣接市										計
	吹田市	箕面市	池田市	伊丹市	尼崎市	(未回答)	その他大阪府内	その他兵庫県内	その他府県		
全体(n=191)	3%	1%	1%	2%	4%	1%	2%	2%	2%	2%	100%
南部地域路線	豊南・庄内(n=54)	7%	2%	0%	4%	2%	0%	2%	2%	2%	100%
	庄内南・千成(n=82)	1%	0%	1%	1%	5%	1%	2%	1%	1%	100%
	庄内西・島田(n=47)	0%	0%	0%	0%	6%	0%	2%	2%	2%	100%

【外出先への交通手段】



※公共交通系、自動車系、公共交通系+自動車系の併記、その他の構成比は、代表交通手段に基づいて集計したものを示す。代表交通手段とは、複数の交通手段を利用した場合、利用手段の中から主要な手段を示すものであり、鉄道、バス、乗用車、自動二輪・原付、自転車、徒歩の順としている。

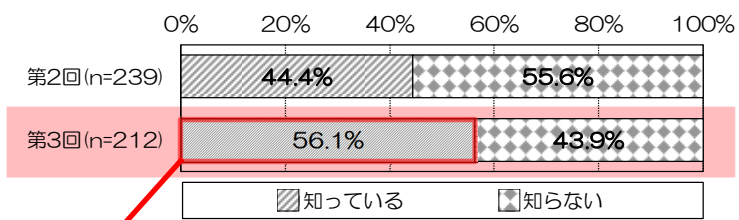
【代表交通手段分担率の推移】

	自動車系(自分で運転+乗せてもらう)+公共交通系の併記	公共交通系	公共交通系+自転車利用の併記	自動二輪・原付	自転車利用	徒歩のみ	その他	計
第1回	32%	2%	24%	4%	1%	23%	14%	100%
第2回	26%	4%	28%	3%	3%	24%	12%	100%
第3回	25%	3%	28%	6%	2%	26%	9%	100%

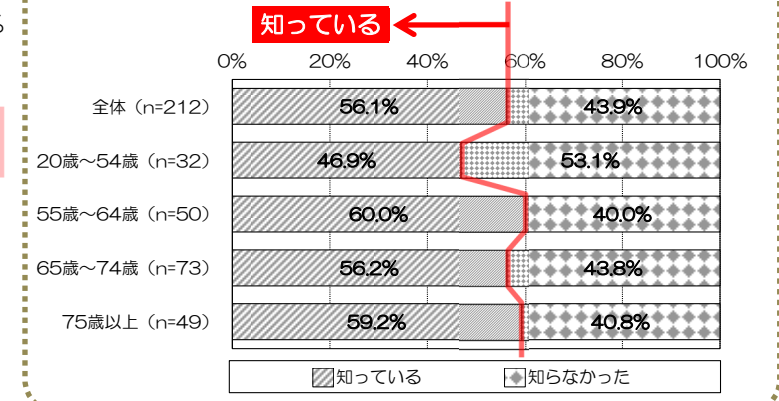
2.6 南部地域乗合タクシーの認知状況〔第2回~第3回一部共通設問〕

- ▶ 南部地域乗合タクシーの認知度は、「知っている」が約6割を占めています。
- ▶ 南部地域乗合タクシーの認知度を年齢別で見ると、「知っている」が20歳~54歳は約5割、55歳~64歳、65歳~74歳及び75歳以上では約6割です。
- ▶ 南部地域乗合タクシーを知った方法を年齢別に見ると、20歳~54歳、65歳~74歳及び75歳以上では「広報とよなか」、55歳~64歳では「近所の停留所を見て」の割合が高くなっています。

【南部地域乗合タクシーの認知度】



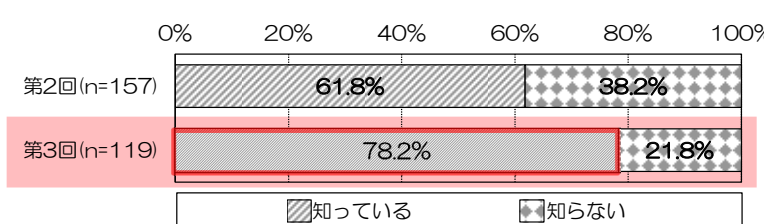
【南部地域乗合タクシーの認知度(年齢別)】



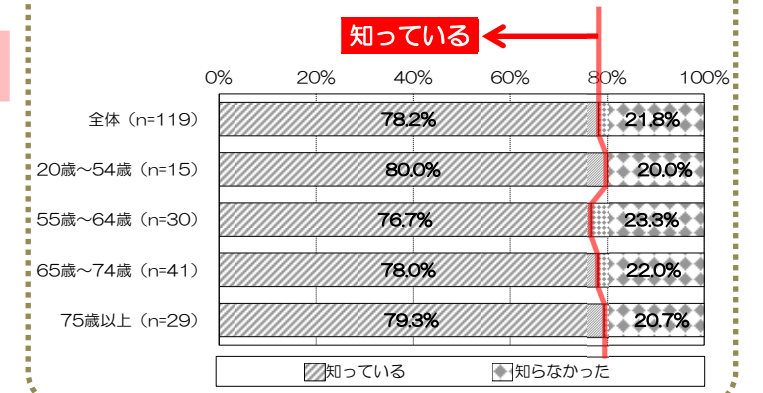
【南部地域乗合タクシーを知った方法(年齢別)】

	広報「とよなか」	豊中市ホームページ	町会からの配布物・回覧板	説明会に参加した	知人・友人・ご近所の方から教えてもらった	近所の停留所を見て	今回のアンケートで知った	その他	総計
全体(n=112)	47%	2%	4%	0%	4%	39%	0%	3%	100%
20歳~54歳(n=15)	53%	0%	0%	0%	0%	40%	0%	7%	100%
55歳~64歳(n=29)	28%	3%	0%	0%	7%	62%	0%	0%	100%
65歳~74歳(n=39)	54%	3%	8%	0%	5%	31%	0%	0%	100%
75歳以上(n=27)	56%	0%	4%	0%	4%	30%	0%	7%	100%

【住まいの近くにある停留所位置の認知状況(年齢別)】



【住まいの近くにある停留所位置の認知状況(年齢別)】



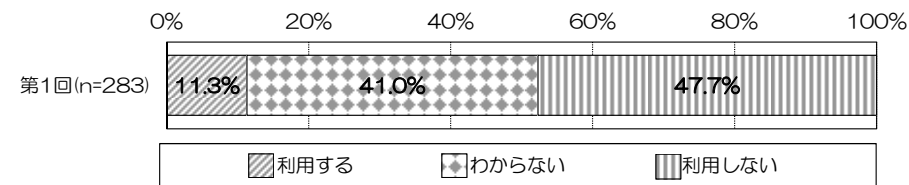
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある



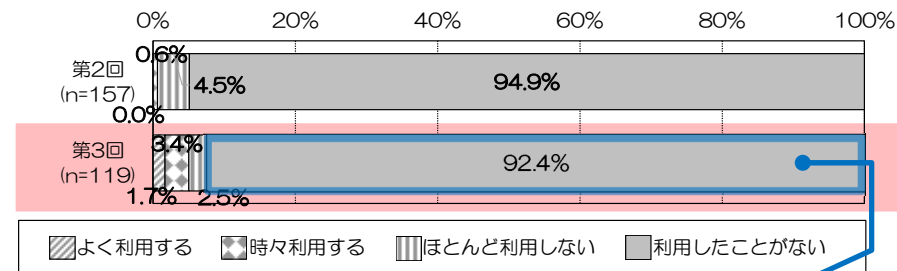
## 2.7 南部地域乗合タクシーの利用意向について

- ▶ 南部地域乗合タクシーの利用状況は、「利用する（よく利用する+時々利用する）」が約1割であり、「利用したことがない」が9割以上を占めています。
- ▶ 南部地域乗合タクシーを利用しない理由は、「自転車やバイクで移動する」が最も多く、次いで「予約するのがめんどうだから」、「自動車で移動する」、「徒歩で移動する」です。現時点では、他の移動手段を利用できる状況にあるため、利用しないという理由が多くなっています（※第1回～第2回と概ね同じ傾向）。

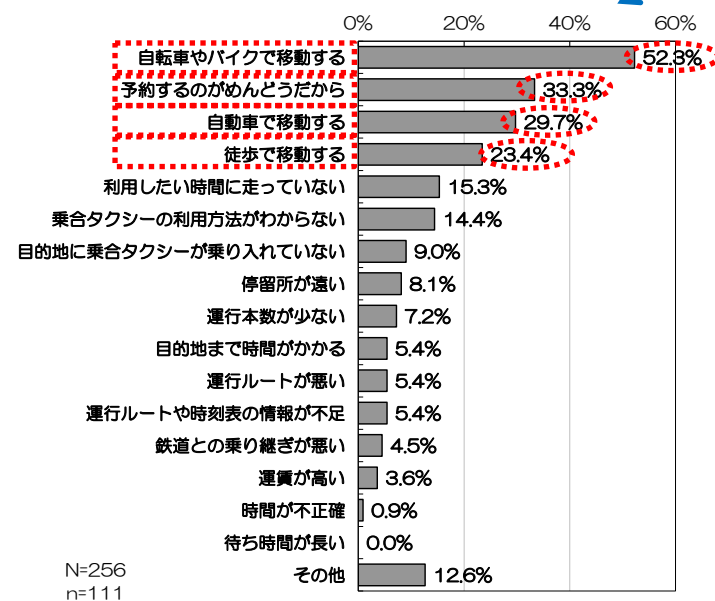
【南部地域乗合タクシーの利用意向（第1回）】



【南部地域乗合タクシーの利用状況】



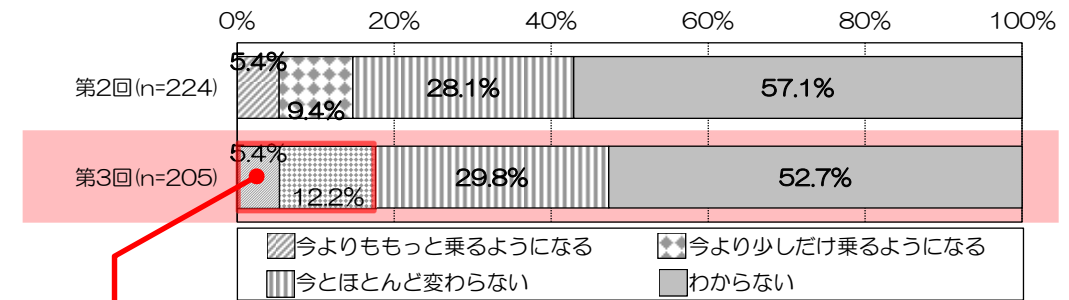
【南部地域乗合タクシーを利用しない理由】



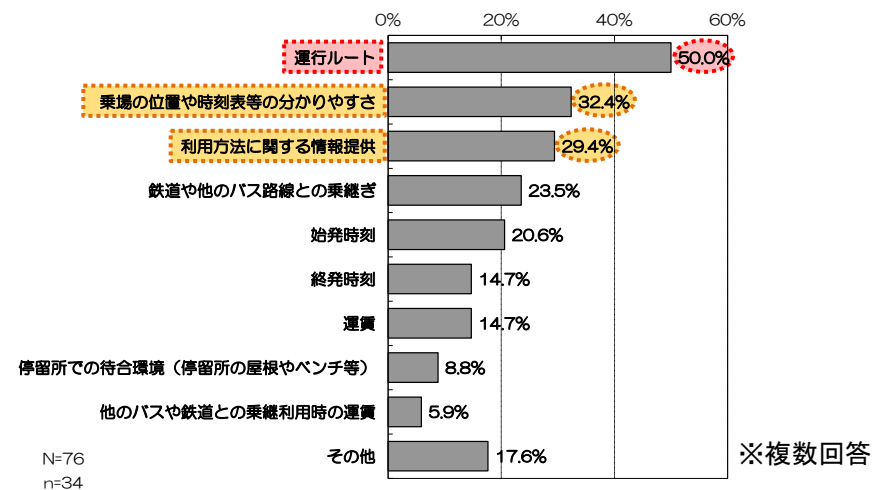
※複数回答

- ▶ 南部地域乗合タクシーのサービスが改善された場合における利用意向は、「今よりも乗るようになる（今よりもっと乗るようになる+今より少しだけ乗るようになる）」が約2割です。
- ▶ 南部地域乗合タクシーの利用が増えるために必要な改善は、「運行ルート」が最も多く、次いで「乗場の位置や時刻表等のわかりやすさ」、「利用方法に関する情報提供」の順です。

【南部地域乗合タクシーのサービスが改善された場合における利用意向】

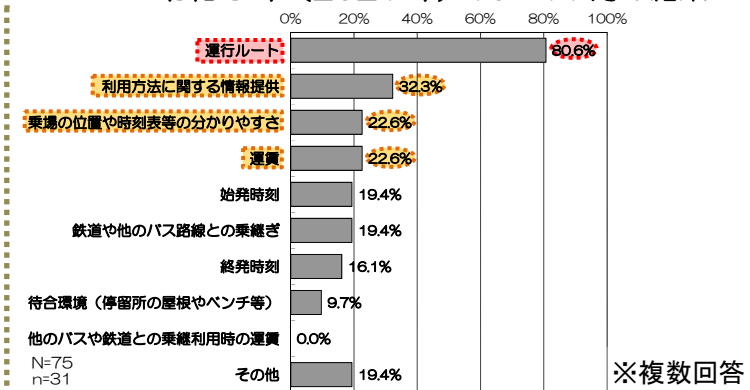


【南部地域乗合タクシーの利用が増えるために必要な改善】



※複数回答

【参考】南部地域住民アンケート  
令和3年（2021年）10～11月の結果



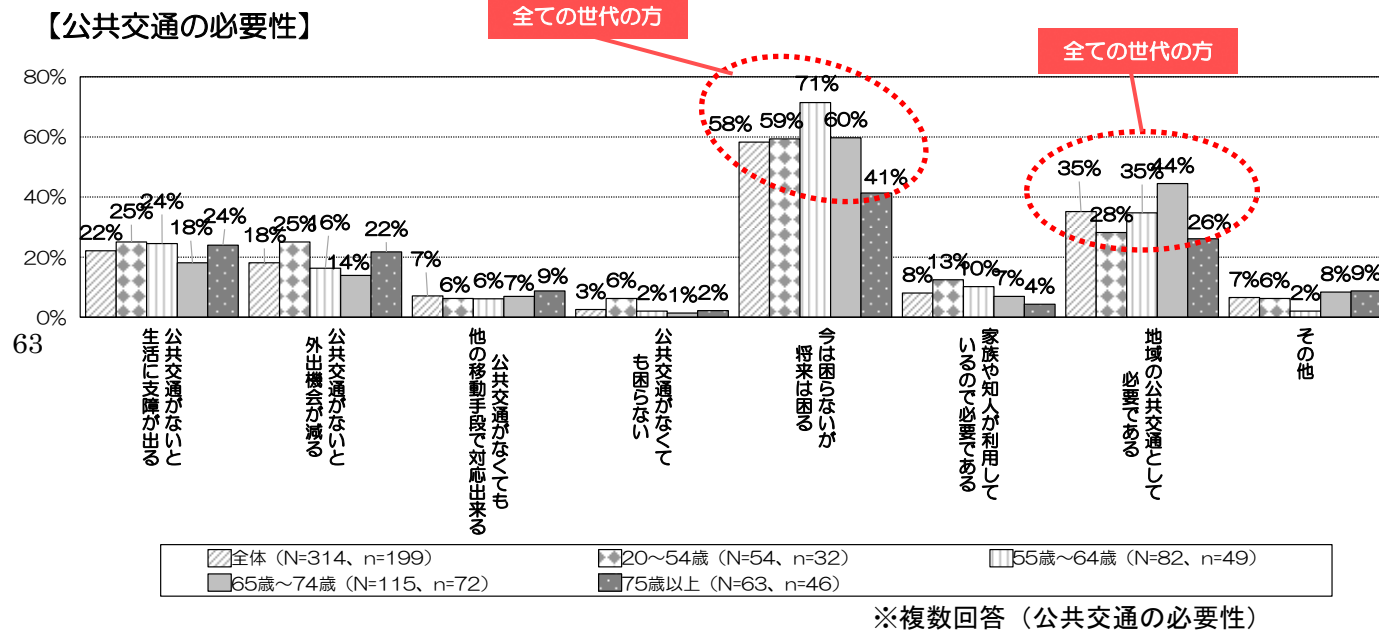
※複数回答

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

## 2.8 公共交通の必要性について〔第1回～第3回共通設問〕

### (1) 公共交通の必要性

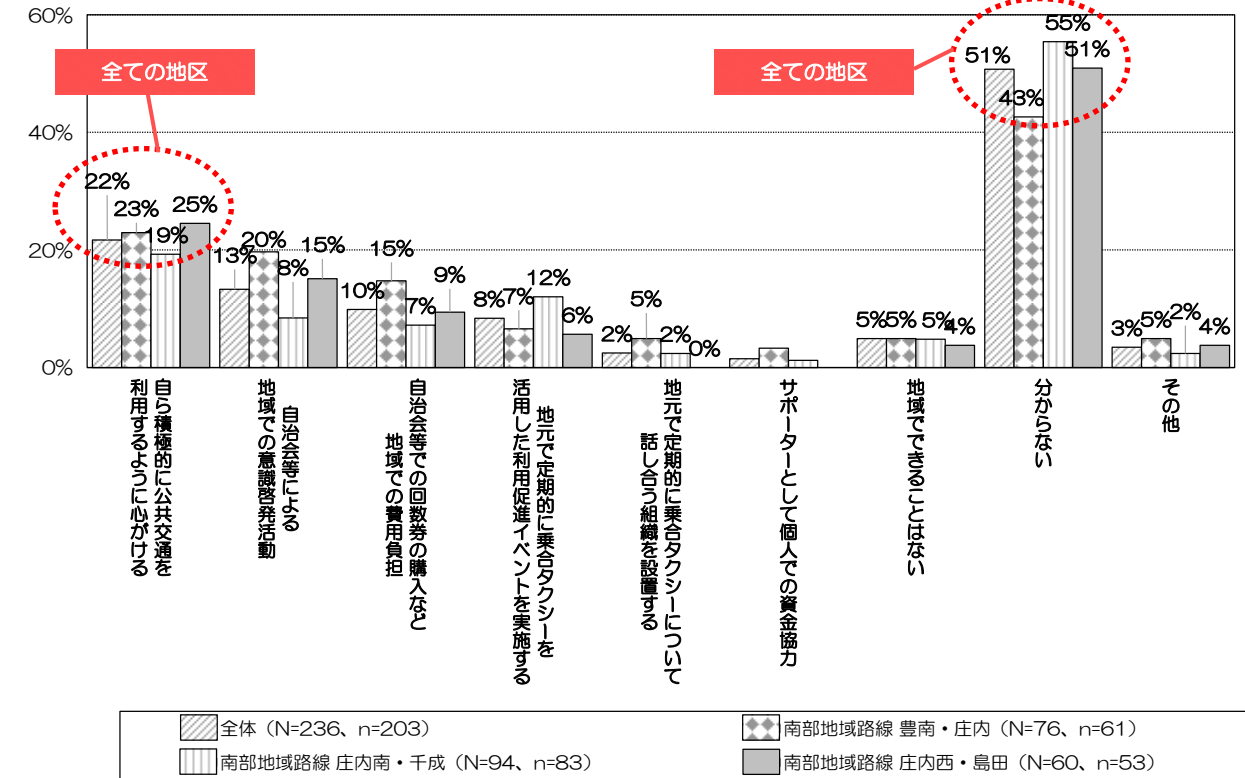
- 公共交通の必要性を年齢別に見ると、「今は困らないが将来は困る」は全ての世代において最も多く、次いで「地域の公共交通として必要である」が多い状況です。（※第1回と第2回では「今は困らないが将来は困る」は全ての世代において最も多く、第1回では「地域の公共交通として必要である」は55～64歳の方、「公共交通がないと生活に支障が出る」は75歳以上の方で2番目に多い状況でした。第2回では「公共交通がないと生活に支障が出る」は20～54歳の方で2番目に多い状況でした。）



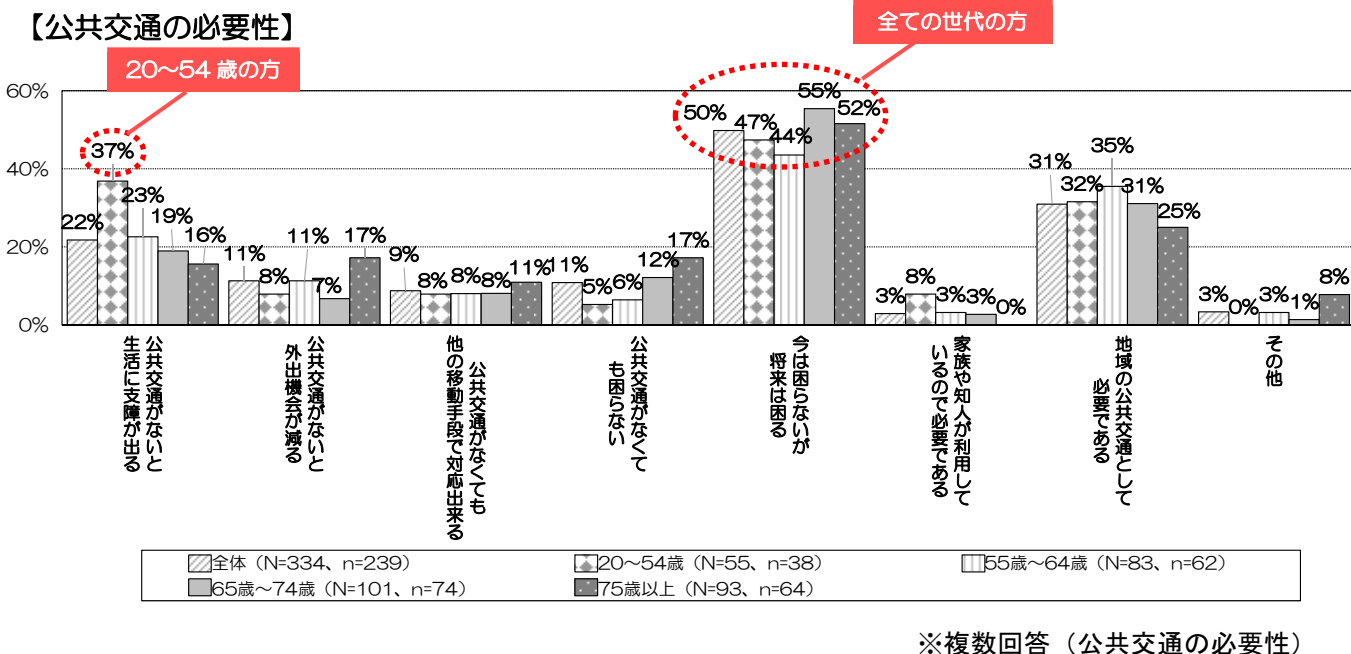
### (2) 公共交通の持続可能な運行を図るために地元や個人でできること

- 公共交通の持続可能な運行を図るために地元や個人でできることを地区別に見ると、全ての地区において「分からない」が最も多く、次いで「自ら積極的に公共交通を利用するように心がける」の順です（※第1回と概ね同じ傾向）。

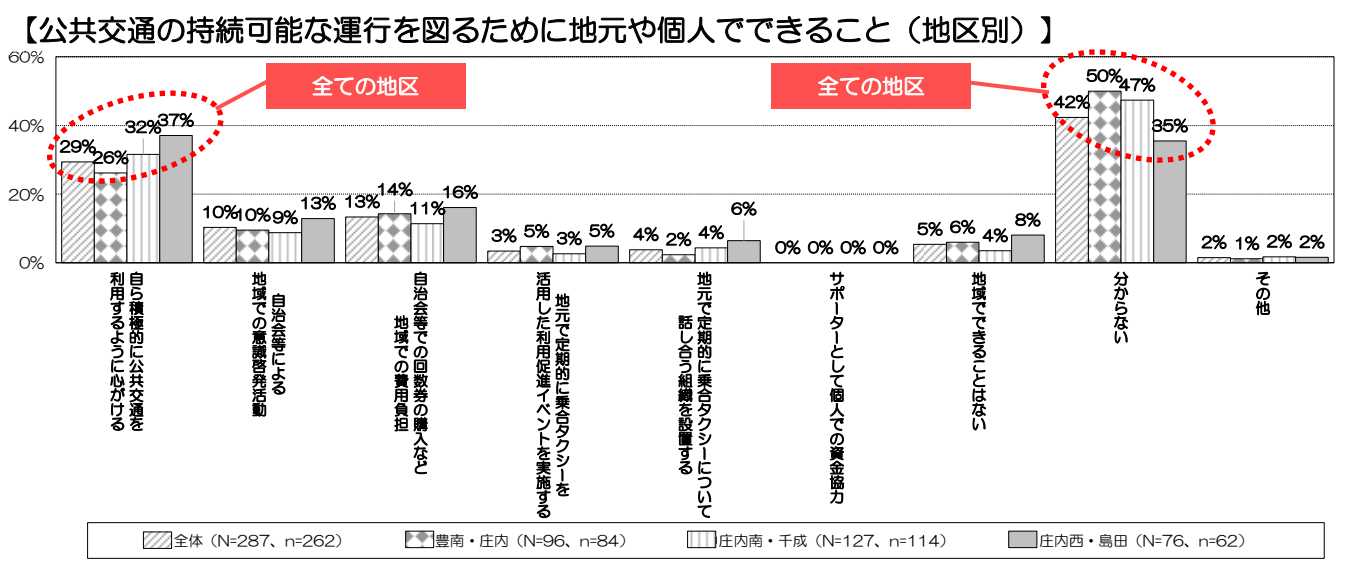
【公共交通の持続可能な運行を図るために地元や個人でできること（地区別）】



南部地域住民アンケート第1回（令和3年（2021年）1～2月実施）の結果



【参考】南部地域住民アンケート第1回（令和3年（2021年）1～2月実施）の結果

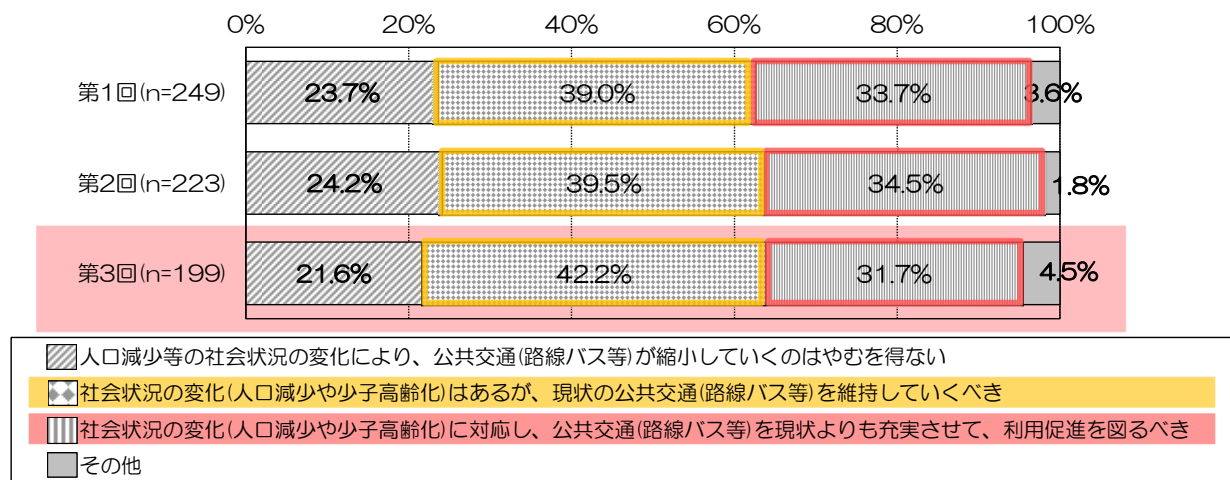


※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

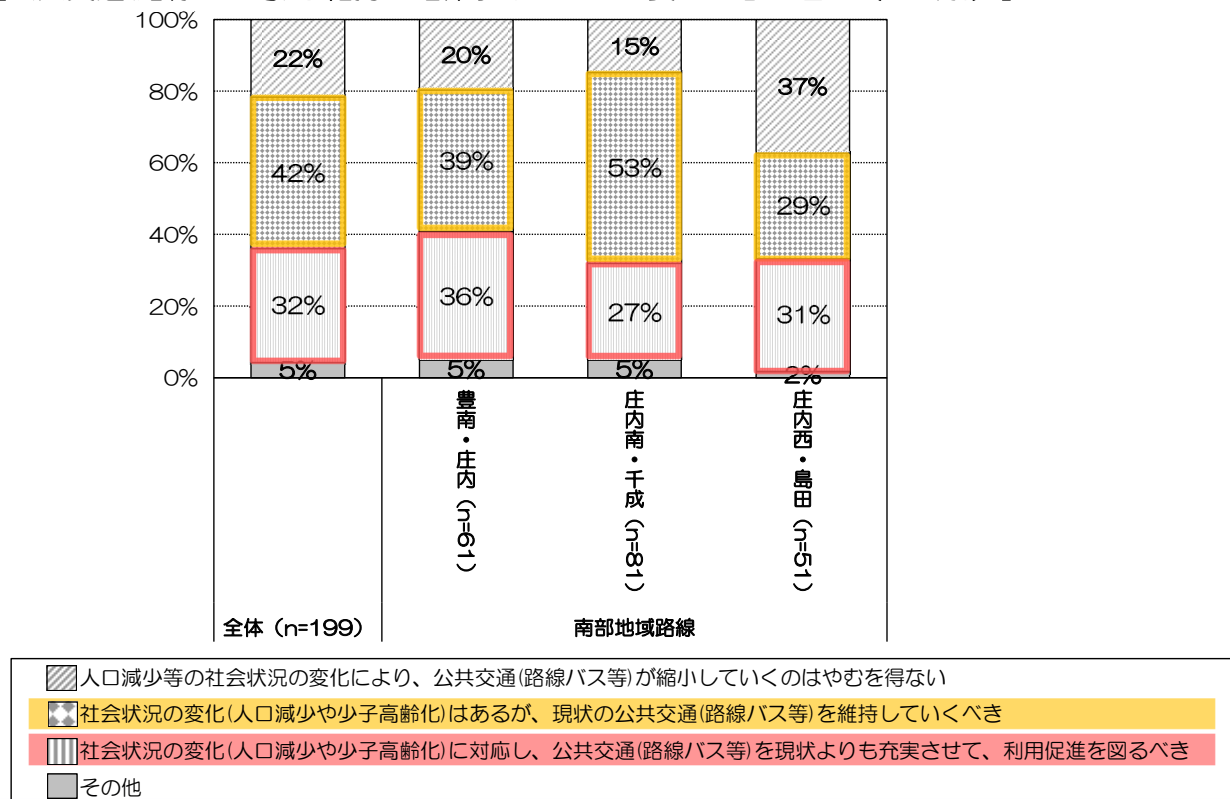
### (3) 公共交通を維持・確保することの必要性

- 公共交通(路線バス等)を維持・確保することは必要だと思う理由は、「社会状況の変化(人口減少や少子高齢化)に対応し、公共交通(路線バス等)を現状よりも充実させて、利用促進を図るべき」と「社会状況の変化はあるが、現状の公共交通(路線バス等)を維持していくべき」の割合が7割以上を占めています(※第1回~第2回と同じ傾向)。
- 公共交通(路線バス等)を維持・確保することは必要だと思う理由を地域別に見ると、「社会状況の変化はあるが、現状の公共交通を維持していくべき」は、庄内南・千成小学校区(53%)が最も多く、次いで豊南・庄内小学校区(39%)、庄内西・島田小学校区(29%)の順です。「社会状況の変化(人口減少や少子高齢化)に対応し、公共交通(路線バス等)を現状よりも充実させて、利用促進を図るべき」は、豊南・庄内小学校区(36%)が最も多く、次いで庄内西・島田小学校区(31%)、庄内南・千成小学校区(27%)の順です。

【公共交通(路線バス等)を維持・確保することは必要だと思う理由】



【公共交通(路線バス等)を維持・確保することは必要だと思う理由(地域別)】



※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある